

令和4年度

南信州広域連合の現況

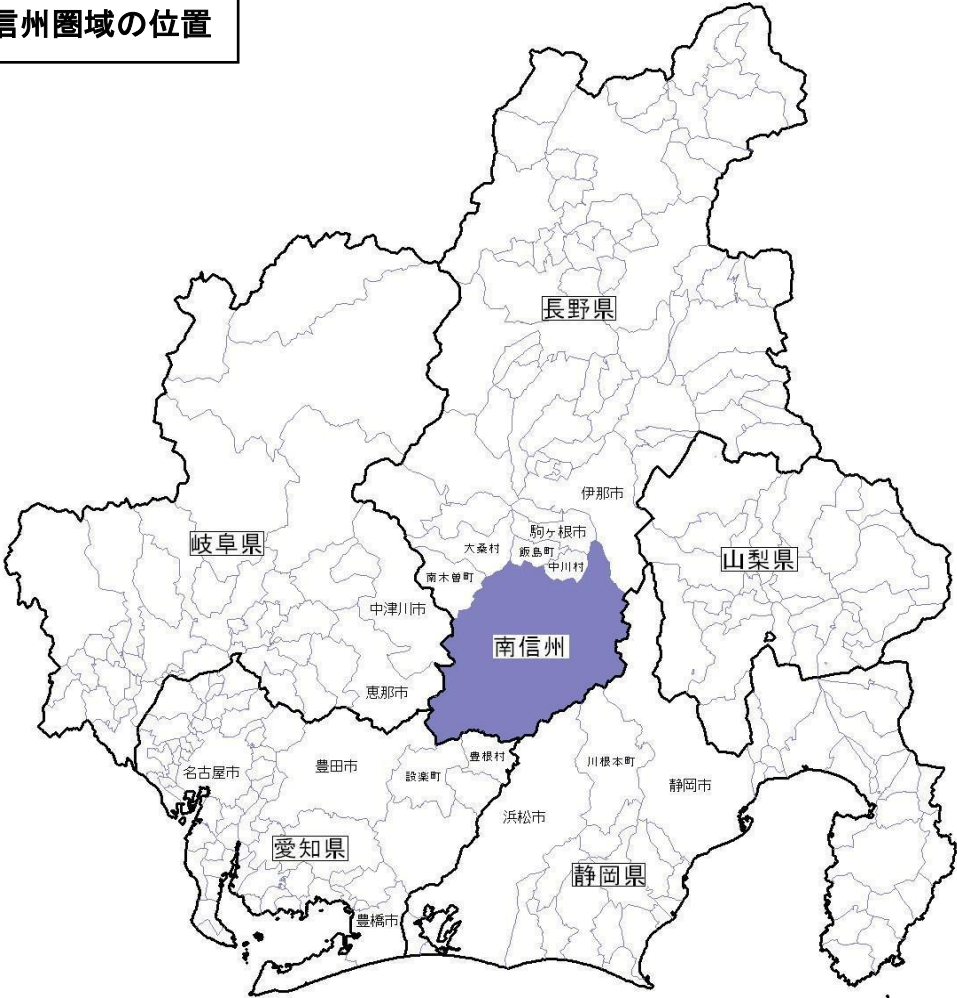
南信州広域連合

目 次

| | | |
|----|----------------------------|----|
| 1 | 南信州圏域の位置、南信州広域連合構成市町村 | 1 |
| 2 | 名称 | 2 |
| 3 | 構成市町村 | 2 |
| 4 | 議会 | 2 |
| 5 | 執行機関等 | 2 |
| 6 | 組織機構と正規職員数 | 3 |
| 7 | 南信州広域連合後期基本計画（令和2～令和6年度） | 4 |
| 8 | リニア時代を見据えた地域づくりの取組み | |
| | （1）多地域居住の推進による地域づくり | 5 |
| | （2）芸術・文化、教育を活かした地域づくり | 6 |
| | （3）スポーツと保健・健康の促進に着目した地域づくり | 7 |
| | （4）新たな産業の振興や誘致による地域づくり | 10 |
| | （5）新たな機能の創出による地域づくり | 12 |
| 9 | 基幹事務事業 | |
| | （1）環境マネジメント事業 「南信州いいむす21」 | 14 |
| | （2）包括協定を活用した地域づくり | 14 |
| | （3）国道等整備改良促進事業 | 14 |
| | （4）障害者支援施設の設置、管理及び運営 | 15 |
| | （5）介護認定審査会の設置及び運営 | 15 |
| | （6）市町村審査会の設置及び運営 | 16 |
| | （7）障がい者相談支援事業 | 17 |
| | （8）老人ホームの入所調整 | 18 |
| | （9）広域防災計画の実施に必要な連絡調整 | 24 |
| | （10）消防 | 24 |
| | （11）ごみ処理施設の設置、管理及び運営 | 36 |
| | （12）し尿処理施設の設置、管理及び運営 | 41 |
| 10 | 各会計の予算・決算の状況 | 42 |
| 11 | 広域行政の歩み | 43 |
| 12 | その他 | 44 |

1 南信州圏域の位置、南信州広域連合構成市町村

南信州圏域の位置



南信州広域連合構成市町村



2 名 称

南信州広域連合（平成11年4月1日設立）

3 構成市町村

1市3町10村

飯田市

松川町、高森町、阿南町

阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

面積：1,928.89 km²

人口：152,207人

世帯：59,302世帯

（令和4年4月1日現在「毎月人口異動調査」より）

4 議 会（令和4年4月1日現在）

議 長 井坪 隆（飯田市）

副議長 栗生 勝由（阿南町）

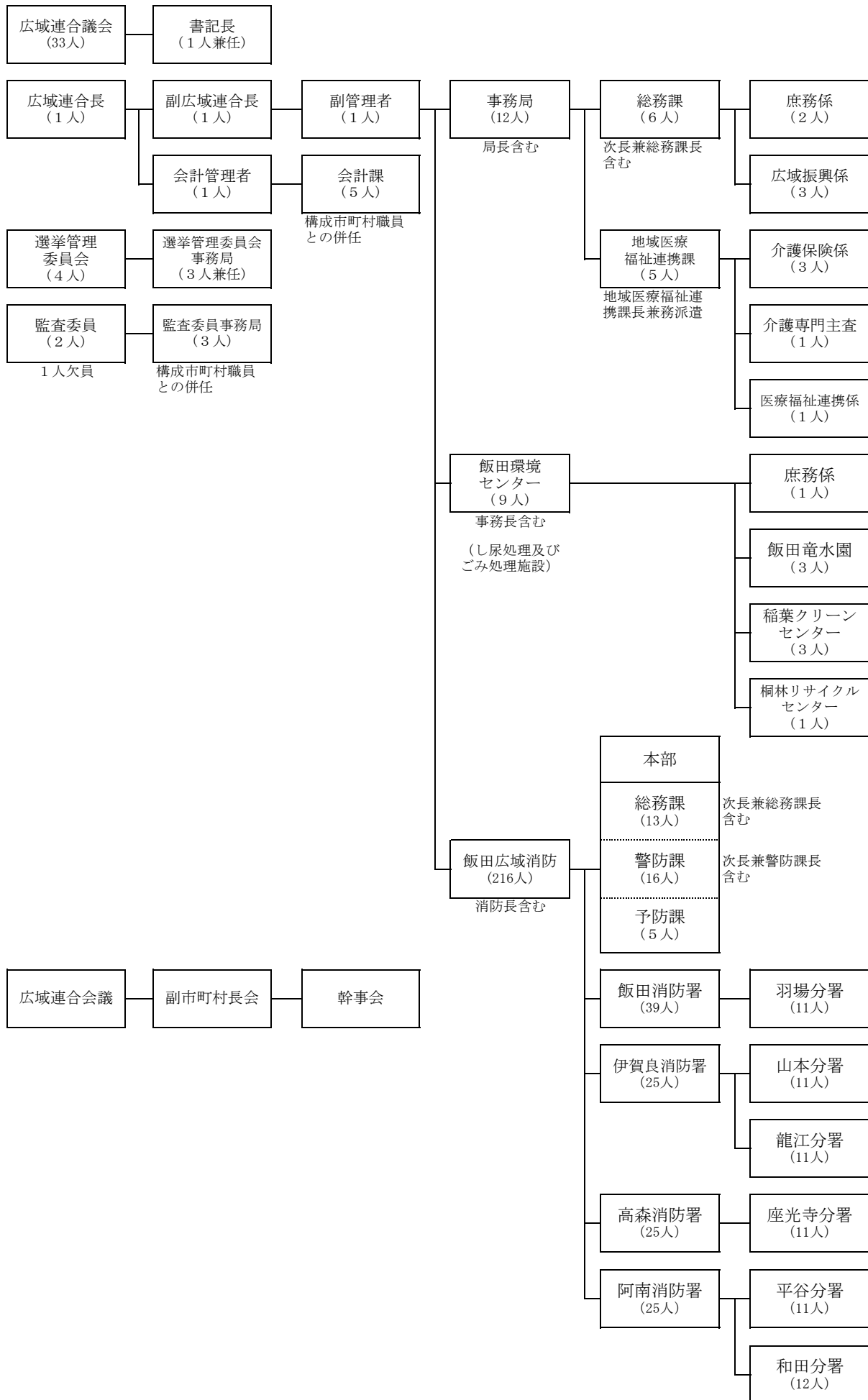
議員数 33名

- ・飯田市…12名
- ・松川町、高森町…各3名
- ・阿南町、阿智村、喬木村、豊丘村…各2名
- ・平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、大鹿村…各1名

5 執行機関等（令和4年4月1日現在）

- (1) 広域連合長 佐藤 健（飯田市長）
副広域連合長 下平 喜隆（豊丘村長）
副管理者 高田 修（飯田市副市長）
関係町村長 正副広域連合長を除く町村長12名
- (2) 監査委員 戸崎 博（識見者・飯田市）
坂巻 秀高（議会選出・根羽村）
1名欠員（R4.5.27～ 前沢 祐二（識見者・下條村）予定）
- (3) 選挙管理委員 松澤 道男（飯田市）
林 春男（松川町）
井原 康人（阿智村）
青山 英敏（阿南町）
仲村 やす子（補充員・飯田市）
原 幸善（補充員・高森町）
川上 金司（補充員・平谷村）
橋爪 誠（補充員・天龍村）

6 組織機構と正規職員数



7 南信州広域連合後期基本計画（令和2～令和6年度）

南信州広域連合（以下「広域連合」という。）は、第4次広域計画「基本構想・基本計画」の後期5年に当たる令和2～6年度に取り組む課題を「後期基本計画」の中で以下のとおり体系化した。

これにより、「南信州広域連合の現況」においても従前の掲載方法を改め、具体的な事業内容を後期基本計画に対応させる形で整理を行った。

| | | |
|----------------------|-------------------------|---|
| リニア時代を見据えた地域づくりの取り組み | 多地域居住の推進による地域づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○景観形成プロジェクト事業 ○南信州移住促進プロジェクト事業 ○地域公共交通事業 |
| | 芸術・文化、教育を活かした地域づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○民俗芸能保存継承プロジェクト事業 ○南信州地域の高校の将来像の検討 |
| | スポーツと保健・健康の促進に着目した地域づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護連携推進事業 ○飯田下伊那診療情報連携システム運営事業 ○看護師等確保対策修学資金貸与事業 |
| | 新たな産業の振興や誘致による地域づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○産業振興と人材育成の拠点整備事業 ○広域観光リニアプロジェクト推進事業 ○マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト事業 |
| | 新たな機能の創出による地域づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○アリーナ機能を中心とする複合施設整備検討事業 ○ICT環境整備利活用研究プロジェクト事業 |

| | |
|--------|--|
| 基幹事務事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○広域連合の区域における広域行政の推進に関すること ○広域的な幹線道路網構想及び計画の策定並びに同構想等に基づく事業の実施に関すること ○市町村間及び広域連合の人事交流に関すること ○広域的な課題についての調査研究に関すること |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○障害者支援施設の設置、管理及び運営に関すること ○介護認定審査会の設置及び運営に関すること ○障害支援区分に関する審査及び判定を行う審査会の設置及び運営に関すること ○地域生活支援事業としての相談支援事業に関すること ○老人ホーム入所判定委員会の設置及び運営に関すること |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○広域防災計画の実施に必要な連絡調整に関すること ○消防に関すること |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ごみ処理施設の設置、管理及び運営並びに一般廃棄物の処理に関すること ○し尿処理施設の設置、管理及び運営に関すること |

8 リニア時代を見据えた地域づくりの取組み

(1) 多地域居住の推進による地域づくり

ア 景観形成プロジェクト事業

(ア) 概要

南信州地域全体及び伊那谷全体を一つの観光圏と捉え、来訪者や移住希望者を惹きつける「美しい景観」形成にむけた効果的な景観保全・創造を推進するため景観形成プロジェクトを立ち上げ、広域的な課題検討と対応に取り組む。

具体的な取組として、誘導看板、広告看板など屋外広告物の対策等の検討から始め、令和2年度に屋外広告物に係る修景指針の策定、上伊那の民間組織「三風の会」と共通デザインの看板設置の検討を進めてきた。令和3年度はプロジェクト会議で市町村の特徴的な景観形成取組があるモデルルートを検討し、今後は、選定したモデルルートにおける効果検証と優良事例の横展開にも取り組んでいく。

- a 景観形成プロジェクト会議を開催（8月2日）
- b 南信州における特徴的な景観形成モデルルート検討
- c 各自治体による「不要、危険、意味のない等の看板」調査（R2～6年度）

(イ) 当面の課題

景観形成に関して圏域全体の調和を図るために、各自治体の地域性を考慮し取組状況の共有と整理が必要。中長期的な取組と捉え、飯田建設事務所建築課、三風の会など関係機関との連携により好事例を研究しながら全体への波及を目指す。

イ 南信州移住促進プロジェクト事業

(ア) 概要

各市町村が独自で取り組む移住促進施策に加え、広域的な連携によりU I ターン希望者に多様な選択肢を提供する機会を創出することで圏域への移住促進を図る。また、平成28年度から南信州の知名度・認知度向上のための相談会やセミナーの開催と合わせ、当地域の「暮らし」を知り、魅力を「体験」してもらおう移住体験ツアー企画してきた。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面による出張相談会や現地ツアーは実施できないため、オンラインで事業を実施した。

- a 南信州オンラインツアー
「就農移住」と「秘境の暮らし」をテーマに2回開催（延べ参加：51組69名）
- b 移住オンラインセミナーの開催
「ゲストハウス」と「ペア移住」をテーマに2回開催（延べ参加：30組34名）
- c YouTubeチャンネルの整備と動画配信による情報発信
公式チャンネル「南信州暮らし」をリニューアルし、上記a, bの事業動画を配信
- d 移住者パンフレット「南信州暮らし」の制作し市町村及び関係機関への配布

(イ) 当面の課題

各市町村の取組みを尊重しながら、一体的な取組みにより移住促進効果を高めていくことが必要。新型コロナウイルス感染症拡大を背景として、都市部から地方への移住ニーズの高まりがある一方で、現地での対面の相談会やツアーの開催には今後も工夫が必要。ウ

イズコロナ時代に求められるリアルとオンラインを併用したハイブリット型の手法で取組展開を図りながら、14市町村及び関係機関の連携や移住者同士のつながりのネットワークを拡げて施策の効果を高めていく。

ウ 地域公共交通事業

(ア) 概要

南信州地域公共交通網形成計画に基づく圏域内の公共交通の確保・維持について検討し、住民及び来訪者に対して「もっとやさしく・もっと便利に・地域のおでかけを支えるしくみ」の構築を目指す。

- a 「南信州地域交通網形成計画」の計画期間が終了するため、「南信州地域公共交通計画」を令和3年6月に策定し、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正（令和2年11月施行）を反映させた。当地域には多様な公共交通体系が存在していることから、全体的な検討のほか、北・飯田、南、西の3つのブロック単位でも検討を行った。
- b 南信州公共交通システムに基づき、利用促進・利用転換、既存公共交通の改善事業、利便性向上につながる事業を実施した。

(イ) 当面の課題

- ・新計画に基づく実行性（実効性）のある事業の実施及び進行管理を行う。
- ・公共交通を取り巻く技術が目まぐるしく進歩している中で、当地域の地形や実情に合った公共交通の研究・検討を推進していく。

(2) 芸術・文化、教育を活かした地域づくり

ア 民俗芸能保存継承プロジェクト事業

(ア) 概要

南信州地域の自然環境や生活文化に根差した民俗芸能は重要な地域資源であり、民俗学の観点からも高い評価を得ており、国の重要文化財に指定されたものも多く、「伝統文化の宝庫」とも言われているが、地域の少子化や高齢化により継承が喫緊の課題となっている。

民俗芸能は単なる芸能である以上に、コミュニティの健全な存続に寄与してきた側面を持つため、それを保存継承することは持続可能な地域づくりにとって重要な役割を担っているという考えの下設立された「南信州民俗芸能継承推進協議会」の事務局として、民俗芸能の保存継承に資する事業に取り組む。

- a 南信州民俗芸能ファンクラブの設立・運営
 - ・メールマガジン登録 99人
 - ・Facebook フォロワー 668人
 - ・Instagram フォロワー 238人
- b 各種啓発イベントの実施
 - ・第6回南信州民俗芸能継承フォーラム（7月3日、エス・バード）
 - ・第4回伊那民俗研究集会（10月9日・10日、飯田市竜丘公民館）
 - ・南信州民俗芸能サロン（3月25日～27日、飯田市中心通り4丁目）
- c 南信州民俗芸能パートナー企業との連携

- ・パートナー企業勉強会（2月4日、オンライン）
- ・協賛事業実施（カレンダー制作・配布、南信州民俗芸能サロン開設（再掲））

(イ) 当面の課題

当地域の民俗芸能が持つ価値と継承の重要性に対する理解者のネットワークを広げ、地域全体・多様な主体で民俗芸能の保存継承に取り組む機運を高めていくことが必要である。

イ 南信州地域の高校の将来像の検討

(ア) 概要

平成30年に長野県教育委員会が示した「高校再編～夢に挑戦する学び～実施方針」に対し、旧第9通学区である当地域では「南信州の高校の将来像を考える協議会」を設置して、この地域に望まれる高校の将来像についての検討を行った。

その結果、多様な生徒の生活スタイルに合わせた学びの場を提供できるよう飯田O I D E長姫高等学校の夜間定時制課程に多部制・単位制の機能を補完する仕組みを構築するという県教委の方針について、これを支援していく形での意見書をまとめた。

(イ) 当面の課題

今後の少子化を見据え、この地域に望まれる高校の将来像については、県教委だけでなく行政機関と教育関係者が連携し、地域全体での検討を継続していくことが必要であり、公立私立を含めた圏域8高校が一丸となって取り組むことが重要である。

(3) スポーツと保健・健康の促進に着目した地域づくり

ア 在宅医療・介護連携推進事業

(ア) 概要

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制を整備するために、平成27年度の介護保険制度改正を受け、構成市町村、広域連合、飯伊地域の関係機関・団体等、多職種の参画を得て平成28年4月に「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」を立ち上げた。協議会では、専門部会を設け課題の検討を行い8つの事業項目に取り組んできた。

昨年度は、地域の課題を抽出して検討していくための一手段として「南信州地域合同ケアカンファレンス」を立ち上げて、多職種で自立支援のための事例検討を行った。

介護職等の人材確保については、広報やホームページでの職場紹介により介護職の魅力を広く周知する取組みを行った。

| 8 事業項目 | 取組・事業項目 |
|-------------------------|---|
| 地域の医療・介護の資源の把握 | ①医療機関、介護事業所等の情報収集 |
| | ②医療・介護資源のリストまたはマップ作成と活用 在宅療養不可能世帯数の把握 |
| 在宅医療・介護連携課題抽出と対応策検討 | 人材確保・資源偏在対策検討(看護職、介護職) |
| | 地域ケア会議開催の促進 |
| 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 | 退院調整ルールづくり |
| 医療・介護関係者の情報共有の支援 | 介護系を含むICTシステムの検討 |
| | 飯田下伊那診療情報連携システム[ism-Link]の運用方法・課題等の検討 |
| 在宅医療・介護連携に関する相談支援 | ①在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営 ②医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等 ③地域包括支援センターとの連携 |
| 医療・介護関係者の研修 | 多職種研修 |
| 地域住民への普及啓発 | ①在宅医療や介護に関する講演会等の開催 ②啓発パンフレットの作製・配布等 ③「地域包括ケアシステム」の住民への普及啓発 |
| 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 | 南信州在宅医療・介護連携推進協議会の活動による連携の推進 |

(イ) 当面の課題

人材確保・資源偏在対策検討にも引き続き取り組むが、各地域が抱えている地域ケア会議での課題を吸い上げて検討していく。そのために、「南信州地域合同ケアカンファレンス」を継続的に行っていく。また、「人生会議」については、引き続き地区単位の公民館活動等と連携し小規模講演会等を行い、周知を行っていく。

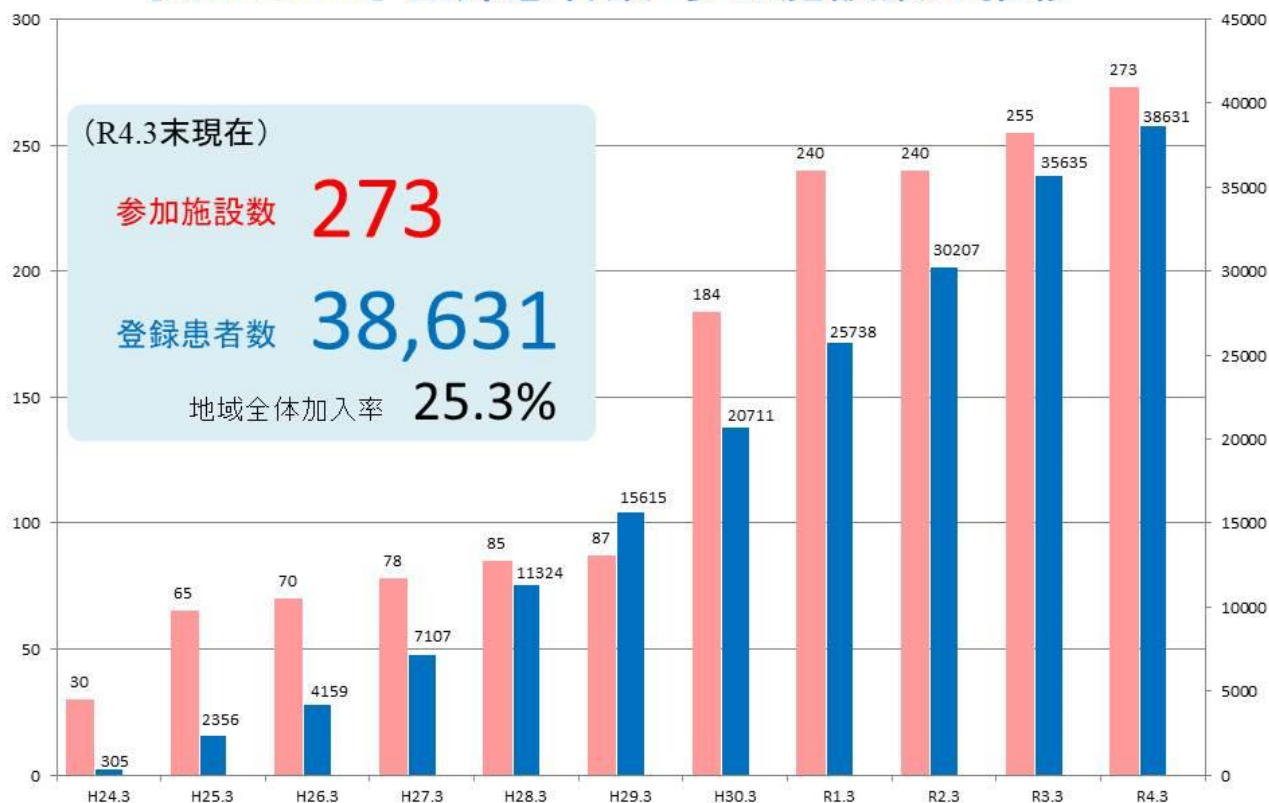
イ 飯田下伊那診療情報連携システム運営事業

(ア) 概要

飯田下伊那診療情報連携システム[ism-Link]は、平成21年度に飯伊医療圏域の中核病院である飯田市立病院を中心に導入され、平成28年4月、システム更新を機に広域連合が事業主体となった。

当初は、医師の利用が大多数であったが、訪問看護ステーション、飯田下伊那薬剤師会、介護関係事業所等の加入が進み、多職種への利用が広がっている。

[ism-Link] 登録患者数・参加施設数の推移



ism-Link 参加施設の内訳

| 施設 | 参加施設数 | 登録率 |
|---------------|---------|------|
| 病院 | 9/9 | 100% |
| 診療所 | 72/104 | 69% |
| 歯科診療所 | 24/77 | 31% |
| 保険薬局 | 64/65 | 98% |
| 訪問看護ステーション | 14/17 | 82% |
| 介護関係事業所(行政含む) | 90/130 | 69% |
| 合計 | 273/400 | 68% |

(イ) 当面の課題

情報セキュリティ対策を進めるとともに、ポスター・パンフレット、広報等により ism-Link のさらなる普及に努める。

ウ 看護師等確保対策修学資金貸与事業

(ア) 概要

当地域における看護師等の人材不足への対策として、当地域の医療機関等への就職を促すため「看護師等確保対策修学資金貸与事業」を創設し、平成 29 年 4 月から運用を開始し、毎年 10 名程度の修学生への貸与を行っている。

卒業者が地域内の医療機関等へ就職し看護師・保健師等として活躍しており、徐々に実績を上げている。

a 修学資金貸与状況

- (a) 平成 29 年度 応募者 13 名 貸与者 10 名 (飯田医師会負担金 1,200 千円)
- (b) 平成 30 年度 応募者 10 名 貸与者 10 名 (飯田医師会負担金 2,400 千円)
- (c) 令和元年度 応募者 19 名 貸与者 12 名 (飯田医師会負担金 3,600 千円)
- (d) 令和 2 年度 応募者 16 名 貸与者 10 名 (飯田医師会負担金 4,000 千円)
- (e) 令和 3 年度 応募者 16 名 貸与者 10 名 (飯田医師会負担金 4,000 千円)

b 貸与終了者の状況

- (a) 平成 30 年度～令和 3 年度末養成校卒業者 24 名
うち圏域内医療機関等就職者 22 名、進学者 2 名
- (b) 返還対象者 8 名

(イ) 当面の課題

より多くの人材が地域に定着してもらえるよう、修学生との定期的な懇談会や情報提供等、きめ細やかなフォローを行う。

また、中途退学などで目的の達成に至らなかった返還対象者に対しては、返還金の確実な収納を図っていく。

(4) 新たな産業の振興や誘致による地域づくり

ア 産業振興と人材育成の拠点整備事業

(ア) 概要

航空機関連産業をはじめとする地域産業の高度化及び高付加価値化の実現や、次世代を担う新たな価値の創出、自立した力強い地域経済の循環を創造していくため、産業振興に寄与する多様な主体が交流し連携を深める「共創の場」として、平成 31 年 1 月、産業振興と人材育成の拠点（通称：エス・バード）を開設した。

管理運営は指定管理者である（公財）南信州・飯田産業センターに委託し、貸館事業等の取組みを行っている。

令和 3 年度は、飯田工業技術試験研究所にこれまで導入した 5 台の環境試験機器の利用促進と試験所の機能強化のため、専門的な知見を有する「部門長」を配置し、ISO/IEC17025 試験所認定の取得を行った。

また、信州大学と連携して取組んでいる航空機システム関連産業を担う人材の育成を目的とした「航空機システム共同研究講座」が令和 7 年 3 月まで継続されるとともに、令和 5 年度の「ランドスケープ・プランニング共同研究講座」の開講に向けて、航空機システム同様に地域内外の企業・金融機関・行政等によるコンソーシアムが設立され、今後もよ

り質の高い人材の育成が期待される。

a エス・バード利用状況

- ・利用者 924 件 34,317 人(貸館 13,533 人、産業センター主催事業 18,322 人、共創の場 2,462 人)
- ・インキュベート室 5 社入居

b 飯田工業技術試験研究所

- ・環境試験機器整備 5 台
H28 着氷試験装置、H29 防爆性試験評価装置、H30 燃焼・耐火性試験装置、
R 1 高速温度変化試験装置、R 2 高周波振動試験装置
- ・利用状況

| 航空機環境試験 | EMC | 食品系試験 | その他 |
|---------|-------|-------|-------|
| 98 件 | 194 件 | 74 件 | 396 件 |

c 信州大学航空機システム共同研究講座

- ・修了者 15 名(H30 年度 2 名、R 1 年度 6 名、R 2 年度 3 名、R 3 年度 4 名)
いずれも、重工業企業をはじめ、航空機関連企業等に就職

(イ) 当面の課題

施設の機能強化を図り施設利用を促進するとともに、飯田工業技術試験研究所の認定試験所化による利用企業の信頼性向上と整備した環境試験機器の活用を進める。

また、コロナ禍からの経済再生、既存産業の高付加価値化、新産業創出及び将来を担う世代の人材育成を推進する。

今後も、指定管理者である(公財)南信州・飯田産業センターの安定的な施設運営に注視していく。

イ 広域観光リニアプロジェクト推進事業

(ア) 概要

南信州地域の資源を活用した観光を推進し、旅の目的地として選ばれる地域を目指すために、都市圏に向けた情報発信と様々なキャンペーンやイベントを広域観光振興事業として実施してきたが、平成 30 年 12 月に(株)南信州観光公社が「地域連携DMO」に登録されたことを機に、令和元年度から事業を観光公社に移管した。広域連合は、観光公社が南信州全体の広域観光の中心的役割を果たすための支援を行う。

(イ) 当面の課題

地域連携DMOに認定された観光公社が広域的な観光振興の核となり、リニア開通を見据え、インバウンドも含めた誘客や情報発信、地域のおもてなし体制づくりが進むことが必要。観光公社独自の事業を拡大し安定した継続経営がされるよう、財政基盤の強化や人材の確保等への支援を進める。

ウ マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト事業

(ア) 概要

人口減少に伴う少子高齢化や、リニア中央新幹線開業といった大きな環境変化を見据え、当地域の持続可能性を高めるために、自分視点ではなく相手視点によるアプローチであるマーケティングの思考や手法を取り入れた事業を実証し波及させることを目的とする。

平成 28 年度に市町村職員のマーケティング研究会により提案された事業の具体化に向け、プロジェクトチームを立ち上げ検討を進めている。

令和 3 年度から、事業の実施主体を N P O 法人南信州山都共同社中に移管し、広域連合はその事業運営を支援していく。

a 「自信と誇りの持てる農業の再構築」

当地域のコミュニティ、文化・芸能、景観形成の基盤となっている農業により地域の差別化を図ることで、担い手を確保し、地域の持続性向上を目指す。

(a) 少量多品種・高付加価値な農産物の生産の実証実験

希少西洋野菜の栽培及び販売、試験ほ場を活用した栽培試験及び I C T 機器活用試験の実施

(b) 生産物を高付加価値化して販売するための商品化

リゾットセット、サラダセットなどの商品化

b 一村一企業ダーチャ運動

都市部の企業が、南信州地域の自然環境、文化、農産物といった資源を活用して、人材育成や社会的責任への対応といった課題を解決すると同時に、当地域の人口減少、耕作放棄地増等の課題も解決する仕組みを構築し、都市部企業と当地域による継続的な互惠関係を目指す。

(a) 先進事例視察 6月25日 山梨県北杜市黒森地区

(b) 参画企業誘致（地元企業へのプレゼンテーションの実施）

(イ) 当面の課題

都市と地方の互惠関係構築を目指す当事業にとって、コロナ禍による影響は大きく、事業の進捗が思わしくない。収益性が見込みづらい事業であり、資金面での継続的な支援も必要となる。

(5) 新たな機能の創出による地域づくり

ア アリーナ機能を中心とする複合施設整備検討事業（南信州リニア未来ビジョン推進事業）

(ア) 概要

リニア中央新幹線開業及び三遠南信自動車道の全線開通を見据え、新型コロナウイルス感染症及びデジタル社会の進展等による社会情勢の変化、価値観の多様化も踏まえながら、南信州地域の立地を活かした地域振興や面的整備（社会インフラ等の整備）の方向性を包括的に示すため、ブロック毎で協議を進め、当地域の望むべき将来像を現すビジョン「南信州リニア未来ビジョン」を令和 4 年 2 月に策定した。

今後は、策定したビジョンを基に、広域連合で検討を進めているアリーナ機能を中心とする複合施設や、飯田市で検討を進めているリニア長野県駅を核とした魅力発信機能や大

学誘致等についても、関係機関や郡市民との協議の場も創りながら検討していく。

(イ) 当面の課題

今後の人口減少社会を見据え、持続可能な地域を目指すために、ブロック毎のビジョンの議論を南信州全体に拡げて、共通の課題を見出し、将来に向けた方向性を明らかにする。

イ ICT環境整備利活用研究プロジェクト事業

(ア) 概要

リニア中央新幹線開業を見据え、南信州地域のICTインフラ整備を進めるとともに、地域課題の解決に適したICTの利活用の検討を進める。

市町村が掲げるICTを活用したまちづくりの構想を基に、市町村、情報通信企業等と連携し、南信州全体の光回線の整備方法及びICTの利活用について今後の方向性を研究していく。

a ICTインフラ整備

地域内への光回線整備支援

b ICT環境整備研究会の開催（6月2日、12月1日）

光回線整備状況説明、ICTに関する情報提供、長野県DX戦略についての説明、自治体DX推進等に係る情報交換

(イ) 当面の課題

令和3年度末を以って光回線未整備地区への光回線整備は完了。

自治体DXを推進する県等との役割分担を明確化し、広域連合としての取り組み内容を明確化する。

9 基幹事務事業

(1) 環境マネジメント事業「南信州いいむす21」

ア 概要

自然豊かな南信州の環境を守り、自然・環境に配慮した南信州地域のイメージ向上を図るため、南信州独自の環境マネジメントシステムである「南信州いいむす21」を推進（広域連合は登録審査申込受付、判定および登録証交付を担当）。

国際規格 ISO14001 の認証取得には多額な費用や手間がかかることなど、必要性を認めながらも取り組みにくい事業所が多いことから、ISO14001 の基本的な取組みを簡易にした南信州独自の環境マネジメントシステムとして提供している。

平成30年、ISO14001の規格改定（2015年）に伴い、「南信州いいむす21」の仕組みも改定した。主な変更点は以下の3点。①評価方向（上級、中級、初級の3つのクラスを廃止し、取り組む項目でポイント化）、②業務の環境改善、③具体的な活動の重視。

町村の「南信州いいむす21」の取得について支援を行う。

イ 登録事業所数（令和4年4月1日現在）

| | |
|----------------|--------|
| ISO14001 南信州宣言 | 5 事業所 |
| ★10 | 33 事業所 |
| ★9 | 11 事業所 |
| ★8 | 10 事業所 |
| ★7 | 3 事業所 |
| ★6 | 1 事業所 |
| 旧システム | 8 事業所 |
| 計 | 71 事業所 |

(2) 包括協定を活用した地域づくり

ア 概要

民間事業者等が持つノウハウを活用し、第4次広域計画の基本構想、基本計画の実現や、構成市町村が共有する広域的な課題の解決に向けた包括協定を結ぶことで、有効な取組となるよう連携を推進する。また、行政が多様な主体と協働し、リニア時代を見据えた南信州地域の新たな枠組みづくりや取組展開につながるよう協定の具体的な効果を十分に精査し、進行管理を行う。

イ 当面の課題

各自治体で既に締結されている包括連携や類似内容もあるため、広域的な協定効果について十分に審議することが必要。

(3) 国道等整備改良促進事業

ア 中部国道協会・長野県南部国道連絡会

(ア) 概要

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県（南信州・上伊那・木曾）の産業経済及び住民

生活の支えである国道の整備改良促進のため、国への要望活動を実施している。

- a 7月16日 中部国道協会夏季提言活動（国土交通省、財務省、各県選出国會議員）
→ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、書面（郵送）による提言活動を行った。
- b 7月27日 長野県南部国道連絡会総会、国道整備状況説明会
- c 10月26日、11月16日 長野県南部国道連絡会提言活動（国土交通省、財務省、国會議員）
→ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、国土交通省、財務省へは書面（郵送）、国會議員には手交による提言活動を行った。
- d 11月30日 中部国道協会促進大会、秋季提言活動（国土交通省、財務省、国會議員）
→ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、促進大会は中止。提言活動については、書面（郵送）により行った。

イ 一般国道 153 号改良期成同盟会、三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会、天竜川上流治水促進期成同盟会

(ア) 概要

広域連合事務局長が各種期成同盟会の幹事となっており、総会、幹事会等へ出席している。各期成同盟会等の活動に参画し、国等への要望活動を実施し、事業促進を図った。

(4) 障害者支援施設の設置、管理及び運営

ア 概要

名称：南信州広域連合障害者支援施設阿南学園

所在地：下伊那郡阿南町北條 1580 番地

設立年月日：昭和 33 年 5 月 1 日

指定管理者：社会福祉法人ひだまりの郷あなん（平成 23 年 4 月～令和 3 年 12 月）

阿南町による障がい者支援施設阿南学園の移転改築事業が終了し、令和 3 年 12 月 17 日に新たな施設が開所したため、同年 12 月 31 日付けで障害者支援施設阿南学園を用途廃止し、旧施設については令和 4 年 1 月 1 日付けで阿南町へ譲与した。また、備品については、引き続き新施設の管理運営を行う社会福祉法人ひだまりの郷あなんに同日付けで譲与した。

(5) 介護認定審査会の設置及び運営

ア 概要

介護保険制度のうち、介護認定審査会を広域連合で設置し、審査判定を行う。

審査会を共同設置するのは、市町村の範囲を越えた広いエリアから認定審査会委員を選出することで公正・公平な審査が行えること、各市町村で独自に審査会を設置することに比べて経費の節減が図られる等の理由による。

(ア) 介護認定審査会（※数値等は令和 3 年度の状況）

- ・審査会委員数 58人
医療分野：30人、保健分野：14人、福祉分野：14人

- ・合議体の数 13合議体（内訳：通常合議体9、特別合議体4）
- ・1合議体の委員数 4～5人
- ・合議体の分野別委員構成
- 通常合議体 医療分野2人、保健分野1人、福祉分野1人 【9合議体】
- 特別合議体（医療分野3人の合議体）
医療分野3人、保健分野1人、福祉分野1人 【4合議体】

* 医療分野3人の所属する特別合議体内訳

医師・精神科医師(又は神経内科医師)・歯科医師の所属する合議体＝2

医師・精神科医師(又は神経内科医師)・薬剤師の所属する合議体＝2

- ・審査会会場 飯田市、高森町、阿南町
- ・審査会開催日程 毎月第1から第4の月曜日から金曜日

(イ) 認定関係情報の連絡について

構成市町村と広域連合の審査会事務局をI B N専用回線で結び、市町村からの審査依頼の受付や市町村への審査判定結果の報告を行っている。

(ウ) 審査判定状況（令和3年4月から令和5年3月 審査回数：245回）

総審査件数 7,277件（二次判定件数 7,276件 再調査件数 1件）

新型コロナウイルス感染症対策の臨時的な取り扱いとして、市町村の権限により対象者の更新申請者の有効期間を最大12ヶ月間延長した。 総延長件数 294件

| 区分 | 非該当 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 |
|---------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 件数(人) | 4 | 471 | 620 | 1,554 | 1,323 | 1,117 | 1,135 | 1,052 | 7,276 |
| 構成比率(%) | 0.1% | 6.4% | 8.5% | 21.3% | 18.2% | 15.4% | 15.6% | 14.5% | 100% |

※延長処理分を除く

イ 当面の課題

新しい生活様式に則った審査会の運営及び審査会委員の確保が課題である。

(6) 市町村審査会の設置及び運営

ア 概要

障がい支援区分の判定及び審査事務を共同処理する。共同で処理を行うことにより、公平、公正な審査、専門の医師等の確保、経費の削減等が図られる。

(ア) 市町村審査会（※数値等は令和3年度の状況）

- ・審査会委員数 20人
医療分野：8人、保健・福祉分野：12人
- ・合議体の数 4合議体
- ・1合議体の委員数 5人
- ・合議体の分野別委員構成 医療分野2人、保健福祉分野3人

- ・審査会会場 飯田市
- ・審査会開催日程 毎月2回、年間で24回を予定

(イ) 審査判定状況 (令和3年4月から令和4年3月 審査回数:24回)

総審査件数 352件 (二次判定件数 352件 再調査件数 0件)

支給要否決定 1件

| 障がい支援区分 | 非該当 | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 計 |
|---------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 件数(人) | 0 | 2 | 64 | 91 | 60 | 49 | 86 | 352 |
| 構成比率(%) | 0.0% | 0.6% | 18.2% | 25.9% | 17.0% | 13.9% | 24.4% | 100.0% |

イ 当面の課題

感染症蔓延期における適切な審査会運営の実施に向けた検討が必要。

(7) 障がい者相談支援事業

ア 概要

障がい者等の自立支援を目的とした地域生活支援事業のうち相談支援事業について、広域連合が市町村の事務を共同処理し、事業を相談事業者に委託している。

相談支援事業とは、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等、障がい児の保護者又は障がい者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等の便宜を提供する事業。

(ア) 相談窓口

- ・飯伊圏域障がい者総合支援センター (身体、知的、精神障がい関係)
- ・飯田市こども発達センターひまわり (障がい児関係)

(イ) 相談等の状況 (令和3年4月から令和4年3月)

○ 障がい別の相談者数

| | 身体障がい | 重症心身 | 知的障がい | 精神障がい | 発達障がい | 高次脳機能障がい | 難病 | 医療的ケア | その他 | 不明 | 計 |
|------|-------|------|-------|-------|-------|----------|----|-------|-----|----|-------|
| 障がい児 | 13 | 9 | 19 | 0 | 111 | 0 | 3 | 3 | 640 | 2 | 800 |
| 障がい者 | 67 | 9 | 141 | 121 | 21 | 2 | 14 | 0 | 7 | 21 | 403 |
| 不明 | 1 | 0 | 5 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 14 |
| 計 | 81 | 18 | 165 | 123 | 134 | 2 | 17 | 3 | 648 | 26 | 1,217 |

| 福祉サービスの利用 | 社会資源の活用 | 障がいや病状の理解 | 健康・医療 | 不安解消・情緒安定 | 保育・教育 | 家族関係・人間関係 | 家計・経済 | 生活技術 | 就労 | 社会参加 | 余暇活動 | 権利擁護 | 計 |
|-----------|---------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|------|-----|------|------|------|--------|
| 4,224 | 181 | 2,334 | 2,210 | 779 | 3,662 | 809 | 773 | 781 | 312 | 34 | 16 | 15 | 16,130 |

イ 当面の課題

事業者との連携を密にし、必要とするサービスに円滑につなげられる体制構築のための支援を継続的に実施していく必要がある。

(8) 老人ホームの入所調整

ア 老人ホーム入所判定委員会の設置、運営及び入所調整

(ア) 概要

「老人ホームへの入所措置等の指針」に基づき「入所判定委員会」を広域連合で設置し、市町村が行う養護老人ホーム及び特別養護老人ホームに係る入所措置の適否の判定を行う。

特別養護老人ホームについては介護保険適用の施設になったことから、主に措置入所は養護老人ホームで行っている状況である。

○入所判定委員会

- | | | | |
|-----|----|-------------|----|
| ・委員 | 8人 | 老人福祉指導主事 | 1人 |
| | | 市町村老人福祉担当 | 2人 |
| | | 医師（精神科医） | 1人 |
| | | 地域包括支援センター長 | 2人 |
| | | 老人福祉施設長 | 2人 |
- ・原則2か月毎に開催（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

※養護老人ホームの入所調整

当圏域内にある養護老人ホーム4施設のうち、3施設の入所調整を行っている。

(イ) 当面の課題

公正・公平な入所判定及び入所調整の継続実施。

イ 特別養護老人ホーム入所調整検討委員会の設置、運営及び入所調整

(ア) 概要

当圏域内にある特別養護老人ホームのうちの14施設の入所調整を広域連合が行っている。

入所順位については、入所必要度の高い方が入所できるよう、入所調整検討委員会を設置し、入所希望者の状況、介護者及び家族の介護力等を点数化した入所基準を基に判定している。

平成27年4月からの介護保険制度改正により、新たに入所できる方の基準が原則要介護度3以上の方に限定されたこと等から判定方法等を一部修正し対応している。

○入所調整検討委員

- | | | | |
|-----|----|-----------------------|----|
| ・委員 | 9人 | 特養施設関係者（施設長） | 2人 |
| | | 居宅介護支援事業所関係者（介護支援専門員） | 3人 |
| | | 学識経験者（民生委員等） | 2人 |
| | | 行政関係者（介護保険者） | 2人 |
- ・3か月毎に定例開催（6月、9月、12月、3月）

(イ) 当面の課題

入所調整業務の公平性を維持していくために、令和3年度に小委員会を立ち上げ、入所順位決定の基となる入所判定基準について見直しを行っている。

令和4年度中に新たな判定基準を活用した入所判定が行えるよう整備を進めていく。

ウ 老人福祉施設入所措置状況

令和4年3月31日現在

| 区分 | | 養 護 老 人 ホ ー ム | | | | | | | | | | | | |
|----|---------|---------------|-----|---------|-----|-----|-----------|---------------|----------|----------|----------|-----|--------|----|
| 施設 | 市町村 | 信濃寮 | 天龍荘 | ハートヒル川路 | 光の園 | 計 | 郡外、県外へ入所 | | | | | 合計 | 入所待機者数 | 備考 |
| | | | | | | | みすず寮(伊那市) | 南箕輪老人ホーム(上伊那) | 聖母寮(諏訪市) | 寿和寮(茅野市) | 宝泉寮(愛知県) | | | |
| | 松川町 | 12 | 6 | 6 | | 24 | | | | | | 24 | | |
| | 高森町 | 6 | 2 | 5 | 2 | 15 | | | | | | 15 | | |
| | 阿南町 | 2 | 6 | 1 | | 9 | | | | | | 9 | 1 | |
| | 阿智村 | 5 | 2 | | | 7 | | | | | | 7 | | |
| | 平谷村 | | | | | 0 | | | | | | 0 | | |
| | 根羽村 | | | | | 0 | | | | | | 0 | | |
| | 下條村 | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | 2 | | |
| | 売木村 | | | | 1 | 1 | | | | | | 1 | | |
| | 天龍村 | 1 | 13 | | | 14 | | | | | | 14 | 1 | |
| | 泰阜村 | | | | | 0 | | | | | | 0 | | |
| | 喬木村 | 4 | 1 | 1 | | 6 | | | | | | 6 | 1 | |
| | 豊丘村 | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | | |
| | 大鹿村 | | | | 1 | 1 | | | | | | 1 | | |
| | 郡計 | 31 | 30 | 14 | 5 | 80 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 3 | |
| | 飯田市 | 46 | 3 | 82 | 11 | 142 | | | | | 1 | 143 | 8 | |
| | 郡市計 | 77 | 33 | 96 | 16 | 222 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 223 | 11 | |
| | 郡外からの入所 | | | | 31 | 31 | | | | | | 31 | | |
| | 県外からの入所 | | | | 2 | 2 | | | | | | 2 | | |
| 合計 | 入所実数 | 77 | 33 | 96 | 49 | 255 | | | | | 1 | 256 | 11 | |
| | 定員 | 80 | 40 | 100 | 50 | 270 | | | | | | 270 | | |

エ 老人福祉施設利用状況

令和4年3月31日現在

| 区分 | 特別養護老人ホーム | | | | | | | | | | | | | | | 入所待機者数 | | | | | |
|---------|-----------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|-----|-----|----|--------|--------|----|-----|------|-----|--|
| | 施設 | 公設 | | | | | | | | | | 小計 | 民設 | | | | 小計 | 合計 | | | |
| | | 飯田荘 | 第二飯田荘 | 阿南荘 | 松川荘 | 阿智荘 | 天龍荘 | 遠山荘 | 喬木荘 | やすおか荘 | あさぎりの郷 | | 赤石寮 | ゆい | 陽だまりの丘 | | | | 笑みの里 | | |
| 市町村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 松川町 | | | 1 | 30 | | 3 | 3 | 3 | 2 | 5 | 47 | 4 | | | 2 | | | 6 | 53 | 50 | |
| 高森町 | 2 | 1 | | 3 | | 1 | | 1 | | 28 | 36 | 2 | | | | | | 2 | 38 | 33 | |
| 阿南町 | | | 31 | | | 1 | | | 3 | | 35 | 26 | | | | | | 26 | 61 | 20 | |
| 阿智村 | | 1 | 2 | 1 | 44 | 1 | 2 | | 1 | | 52 | 2 | | | | | | 2 | 54 | 31 | |
| 平谷村 | | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | 0 | 0 | 0 | |
| 根羽村 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 0 | 1 | 0 | |
| 下條村 | | | 2 | | | | 2 | | 1 | | 5 | 2 | 1 | | | | | 3 | 8 | 5 | |
| 壳木村 | | | 3 | | | | | | | | 3 | 6 | | | | | | 6 | 9 | 2 | |
| 天龍村 | 1 | | 1 | | | 16 | 1 | | 2 | | 21 | 3 | | | | | | 3 | 24 | 7 | |
| 泰阜村 | | | | | | | | | 11 | | 11 | | 1 | | | | | 1 | 12 | 3 | |
| 喬木村 | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 27 | 2 | 2 | 36 | | 2 | | | | | 2 | 38 | 34 | |
| 豊丘村 | 1 | | 2 | 1 | | | | 1 | 1 | 6 | 12 | | | | 2 | | | 2 | 14 | 15 | |
| 大鹿村 | | | 2 | 1 | | | | 2 | | 1 | 6 | | 1 | | | | | 1 | 7 | 7 | |
| 郡計 | 5 | 3 | 45 | 36 | 44 | 22 | 10 | 34 | 23 | 43 | 265 | 45 | 5 | 0 | 4 | | | 54 | 319 | 207 | |
| 飯田市 | 21 | 38 | 32 | 13 | 31 | 26 | 34 | 15 | 26 | 18 | 254 | 20 | 52 | 10 | 25 | | | 107 | 361 | 336 | |
| 郡市計 | 26 | 41 | 77 | 49 | 75 | 48 | 44 | 49 | 49 | 61 | 519 | 65 | 57 | 10 | 29 | | | 161 | 680 | 543 | |
| 郡外からの入所 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 0 | 1 | 3 | |
| 県外からの入所 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 1 | 2 | 2 | |
| 合計 | 入所実数 | 26 | 41 | 77 | 49 | 77 | 48 | 44 | 49 | 49 | 61 | 521 | 65 | 57 | 10 | 30 | | 162 | 683 | 548 | |
| | 定員 | 30 | 50 | 80 | 50 | 80 | 50 | 50 | 50 | 50 | 64 | 554 | 65 | 58 | 10 | 30 | | 163 | 717 | | |

才 令和3年度老人ホーム入所判定・入所利用申込・入所件数

令和4年3月31日現在

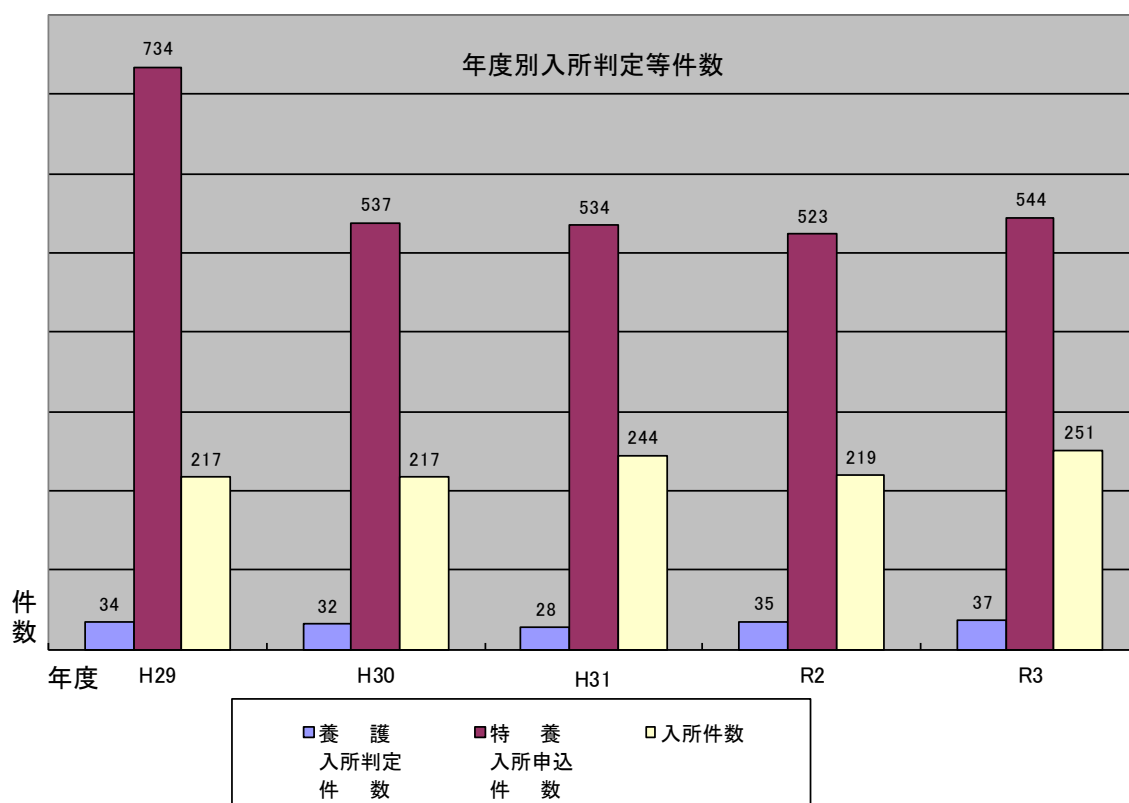
| 市町村名 | 養護老人ホーム | | 特別養護老人ホーム | |
|------|------------|------|------------|------|
| | 入所判定 件数 | 入所件数 | 入所申込 件数 | 入所件数 |
| 松川町 | 1 | 7 | 40 | 16 |
| 高森町 | 2 | 3 | 40 | 19 |
| 阿南町 | 2 | 2 | 34 | 24 |
| 阿智村 | | | 38 | 17 |
| 平谷村 | | | | |
| 根羽村 | | | | |
| 下條村 | | 1 | 5 | 2 |
| 売木村 | | | 4 | 3 |
| 天龍村 | 3 | 2 | 13 | 8 |
| 泰阜村 | | | 2 | 1 |
| 喬木村 | 2 | 1 | 38 | 13 |
| 豊丘村 | | | 18 | 8 |
| 大鹿村 | | | 5 | 1 |
| 郡計 | 10 | 16 | 237 | 112 |
| 飯田市 | 27 | 25 | 298 | 96 |
| 郡市計 | 37 | 41 | 535 | 208 |
| 郡市以外 | | | 9 | 2 |
| 合計 | 37 | 41 | 544 | 210 |

※特養の入所申込件数は、令和3年4月～令和4年3月に新たに申込みのあった件数。

カ 年度別老人ホーム入所判定・入所申込・入所件数（過去5年）

令和4年3月31日現在

| 年度 | 養護老人ホーム | | 特別養護老人ホーム | | 計 | | |
|-----------|---------|------|-----------|------|----------|------------|------|
| | 入所判定件数 | 入所件数 | 入所申込件数 | 入所件数 | 養護入所判定件数 | 特別養護入所申込件数 | 入所件数 |
| H29 | 34 | 32 | 734 | 185 | 34 | 734 | 217 |
| H30 | 32 | 31 | 537 | 186 | 32 | 537 | 217 |
| H31 R元 | 28 | 25 | 534 | 219 | 28 | 534 | 244 |
| R2 | 35 | 36 | 523 | 183 | 35 | 523 | 219 |
| R3 | 37 | 41 | 544 | 210 | 37 | 544 | 251 |



キ 年度別特別養護老人ホーム待機者状況（過去5年）

（各年度末、単位：人）

| 年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|----|-------|-------|------|------|------|
| 人数 | 512 | 551 | 515 | 556 | 548 |

(9) 広域防災計画の実施に必要な連絡調整

ア 概要

当地域全体に被害が及ぶ大規模地震や豪雨災害等に備えるために、様々な面で対策を講じる必要があり、基本的には市町村毎に防災計画や相互応援協定が締結されている。

広域連合は建築士会と「災害時における避難施設等の被災状況調査に関する協定」を締結し、災害時における建築士の応急危険度判定に関する広域的な連絡調整の役割や、広域消防に関する協定や民間等と災害時の協定締結の事務を担っている。

イ 当面の課題

策定されている各市町村の地域防災計画に伴う県及び市町村間の連携と適宜の見直しが重要であり、地域住民の防災意識の向上と合わせて防災対策の情報共有を図っていくことが求められる。

(10) 消防

ア 概要

(ア) 構成

1市3町10村

(飯田市・松川町・高森町・阿南町・阿智村・平谷村・根羽村・下條村・売木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村)

(イ) 飯田広域消防と消防相互応援協定を締結した県外消防本部

豊田市消防、浜松市消防、恵那市消防、中津川市消防、新城市消防

イ 当面の課題

(ア) 圏域消防力の充実強化

a 高森消防署移転建設の検討

外部機関による消防力適正配置調査の結果を基に市町村・消防団の意見を踏まえ、今後の消防署庁舎整備に関する基本的な考え方を整理した。そのモデルケースとなる高森消防署庁舎建設について令和3年度に基本設計を行い、今後は協議及び庁舎建設計画の策定並びに実施設計業務を進める。

b 消防力適正配置の研究

(a) 遠隔地対策の研究

北部、南西部地域における現場到着時間等の地域間の公平性を考慮するため、市町村と意見を交えながら、更に研究を進める。

(b) 南西部ブロックにおける消防力の研究

高森消防署建設計画をモデルとし、地域特性を加味しながら南西部地域における消防力のあり方について検討を進める。

(c) 中央ブロックにおける消防力の研究

圏域全体の課題としてきた消防力の分散配置、本部機能のバックアップ体制について研究を進める。

c 指令施設改修及び今後に係る方向性の検討

設置後8年経過し令和3年1月に必要最低限の部分更新を行った指令システムは、令

和7年度の全部更新を目途にシステム運用のあり方について研究を進める。

d 公務員定年延長を踏まえた職員定数及び採用計画の検討

定年延長の影響による将来の職員年齢構成の空洞化をきたさないよう、新規採用者数の平準化等職員採用計画について検討するとともに、組織機構を含めた職員定数見直しを図り、将来にわたり安定した消防力を維持できる組織体制について検討を進める。

(イ) 災害対応能力の充実強化

a 計画的な人材育成

職員一人一人が将来を見据えた考え方と行動力を持ち、能力開発及び知識技能の習得を画一的に推進する研修体制の充実を図る。また、組織の風土改革を継続する中で、活き活きと活躍できる職場環境の醸成を行う。

b 火災予防対策の推進

安全安心な地域づくりのために、主に高齢者世帯を対象に住宅用火災警報器の設置を推進し、火災の早期発見及び被害の軽減に向けた取組みを行う。さらに、例年出火原因の上位を占めるたき火等に起因する火災を抑止するため、市町村及び関係機関と連携した予防広報など年間を通じ継続的に取組みを行う。また、防火対象物に対する消防用設備等に係る違反の是正強化を図る。

c 救急活動体制の強化

コロナ禍の収束が見通せない中で、安全な救急活動を担保する感染防止対策の徹底を図り、体制の維持に努める。また、夏季の熱中症及び冬季のヒートショックなど、予防救急を目的とした広報活動に早期から取組む必要がある。

救命講習や緊急通報時の適切な口頭指導を通して住民による応急手当の普及推進を図るとともに、救急高度化計画に基づく救急隊員の技術向上を図り、救命率の向上を目指す。

d 将来を見据えた災害に強い体制づくり

リニア中央新幹線建設に伴う長大トンネル工事における災害対策のほか、交通や人流の環境変化により想定される多数のけが人等が発生する救急大事故に備えるため、警防戦術の検討と必要資機材整備を進める。また、地震や風水害のような大規模災害における被害状況把握と的確な消防力投入のために、消防連絡員（消防リエゾン）を市町村等へ派遣し、緊急消防援助隊の受援体制を早期確立するとともに、市町村等との連携強化に努める。

(ウ) 消防施設等の維持及び更新

a 消防庁舎等の維持管理

消防行政の核となる庁舎等施設の長寿命化による将来的な経費削減を目的として、改修等計画の見直しを図りながら、計画的な施設修繕による適切な維持管理を行う。

b 施設等の整備

13mブーム付き多目的消防自動車を伊賀良消防署に配備し管内全域出動とすることで消防活動の充実を図った。今年度は伊賀良消防署の高規格救急車1台及び平谷分署の消防ポンプ自動車を更新し、多様化する消防需要に対処していく。また、災害状況の全様把握と情報収集を目的として配備した4機のドローンについて、活動要領に基づき訓練

や研修を通じて安全かつ効果的な運用を図る。

(エ) 地域防災力強化と次世代育成

a 防災教育の推進

子供の頃から防災を学び児童生徒自身が災害から生き抜く力を身に付けるとともに、災害や防災への興味・関心を高め、その重要性を理解することで消防団や自主防災等、市町村と連携して育成する取組みによって地域防災力の向上を図る。

b 消防団との連携強化

消防団員不足が深刻化する中で、常備消防と消防団の連携はますます重要となっている。特に、火災や風水害の消防活動時における安全管理を含む連携強化のため、合同訓練、研修等を通じて指揮体制と連携活動の充実を図る。

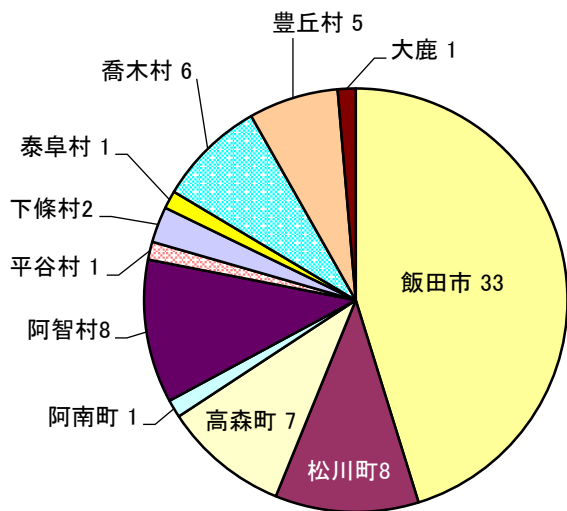
ウ 火災発生状況及び救急出動状況

(ア) 市町村別火災発生件数

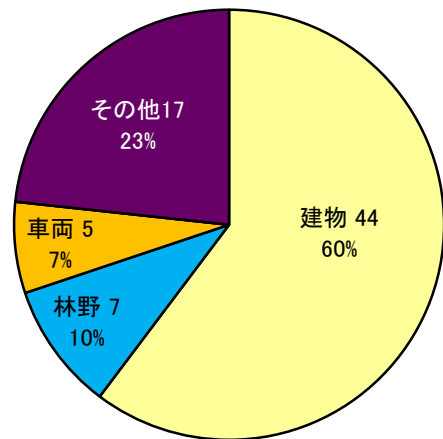
(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

| 月 市町村名 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|
| 飯田市 | 2 | 8 | 2 | 4 | 1 | 2 | 1 | 4 | | 2 | 5 | 2 | 33 | 22 | 3 | 1 | | 7 |
| 松川町 | 2 | 1 | | 2 | | 1 | 1 | | | 1 | | | 8 | 7 | | | | 1 |
| 高森町 | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 7 | 3 | 1 | 2 | | 1 |
| 阿南町 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | |
| 阿智村 | | 1 | 2 | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | | | 8 | 4 | 2 | 2 | | |
| 平谷村 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 根羽村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下條村 | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | |
| 売木村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 天龍村 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 泰阜村 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 喬木村 | | 2 | | 2 | | | | 1 | | | | 1 | 6 | 2 | 1 | | | 3 |
| 豊丘村 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | 5 | 3 | | | | 2 |
| 大鹿村 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 合計 | 5 | 14 | 7 | 11 | 3 | 4 | 5 | 7 | 1 | 5 | 7 | 4 | 73 | 44 | 7 | 5 | | 17 |
| 令和2年 | 7 | 10 | 12 | 9 | 8 | 4 | | 7 | 2 | 3 | 3 | 10 | 75 | 31 | 3 | 6 | | 35 |
| 令和元年 | 7 | 12 | 14 | 16 | 12 | 4 | 1 | 4 | 5 | 10 | 4 | 7 | 96 | 46 | 10 | 6 | | 34 |
| 平成30年 | 7 | 11 | 17 | 8 | 5 | 3 | 3 | 6 | 2 | | 6 | 4 | 72 | 33 | 7 | 5 | | 27 |
| 平成29年 | 4 | 9 | 17 | 7 | 11 | 9 | 1 | | 2 | 1 | 4 | 8 | 73 | 33 | 4 | 5 | | 31 |

市町村別 火災発生件数



火災種別別 発生件数

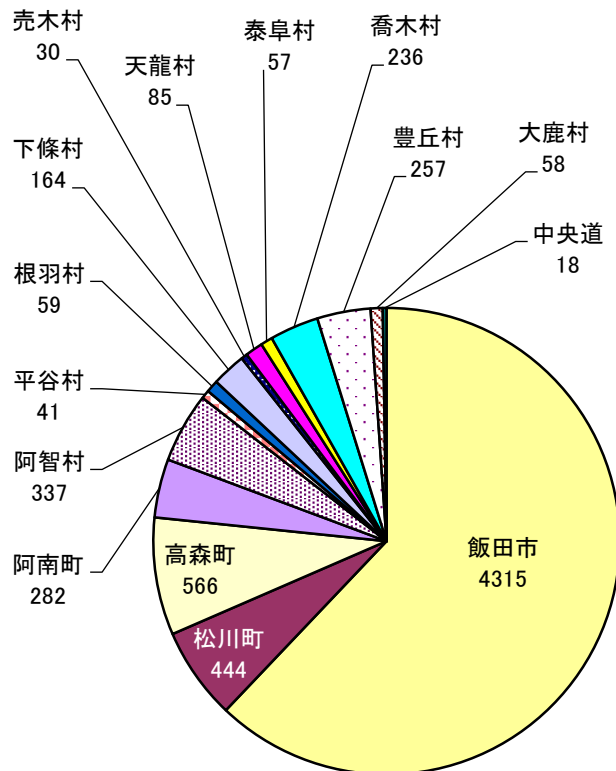


(イ) 市町村別救急出動件数

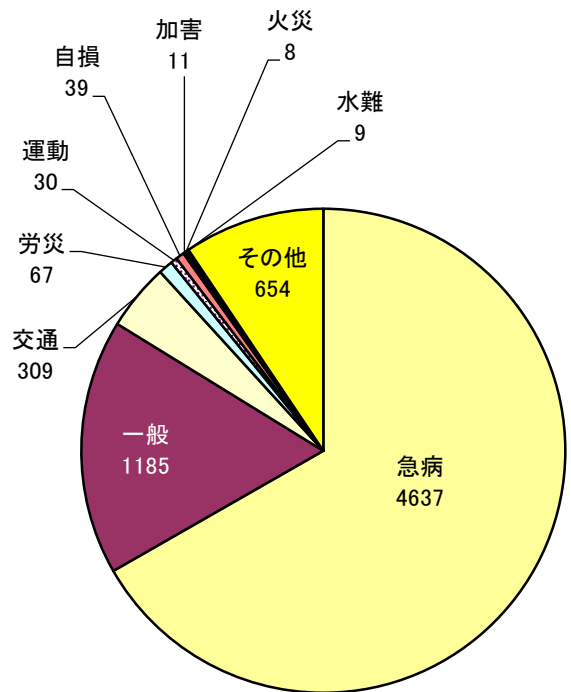
(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

| 地区別 | 出動件数 | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労災 | 運動 | 一般 | 加害 | 自損 | 急病 | その他 |
|------|-------|----|----|----|-----|----|----|-------|----|----|-------|-----|
| 飯田市 | 4,315 | 6 | | 7 | 181 | 36 | 24 | 700 | 8 | 26 | 2,912 | 415 |
| 松川町 | 444 | | | | 18 | 6 | 2 | 84 | 1 | 7 | 304 | 22 |
| 高森町 | 566 | 1 | | 1 | 20 | 7 | 2 | 87 | 2 | 1 | 358 | 87 |
| 阿南町 | 282 | | | | 15 | | | 38 | | 1 | 155 | 73 |
| 阿智村 | 337 | | | | 23 | 4 | | 73 | | 1 | 215 | 21 |
| 平谷村 | 41 | | | | 7 | 1 | | 11 | | | 21 | 1 |
| 根羽村 | 59 | | | | 7 | 2 | | 10 | | | 39 | 1 |
| 下條村 | 164 | | | 1 | 7 | 1 | | 23 | | 1 | 123 | 8 |
| 売木村 | 30 | | | | 2 | | 2 | 5 | | | 20 | 1 |
| 天龍村 | 85 | | | | 3 | | | 21 | | | 58 | 3 |
| 泰阜村 | 57 | | | | 1 | 2 | | 19 | | 1 | 30 | 4 |
| 喬木村 | 236 | | | | 9 | 3 | | 50 | | | 164 | 10 |
| 豊丘村 | 257 | 1 | | | 6 | 2 | | 52 | | 1 | 194 | 1 |
| 大鹿村 | 58 | | | | 3 | 2 | | 12 | | | 34 | 7 |
| 中央道 | 18 | | | | 7 | 1 | | | | | 10 | |
| 三遠南信 | | | | | | | | | | | | |
| 管轄外 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 6,949 | 8 | | 9 | 309 | 67 | 30 | 1,185 | 11 | 39 | 4,637 | 654 |

市町村別 救急件数

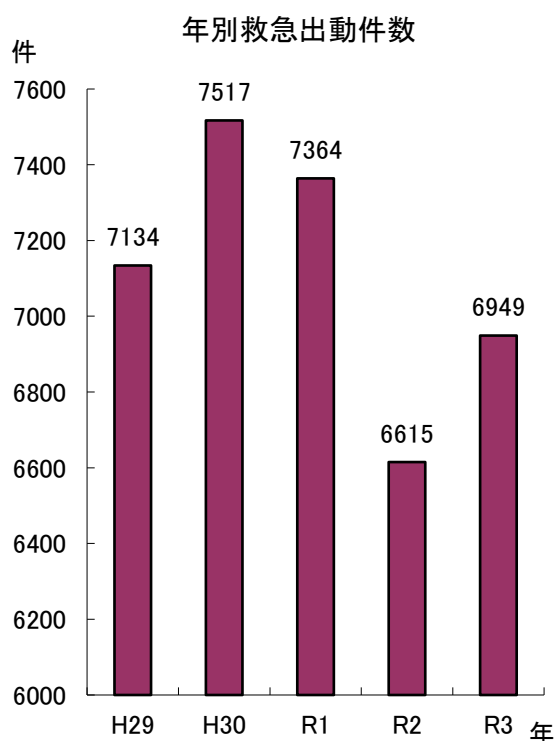
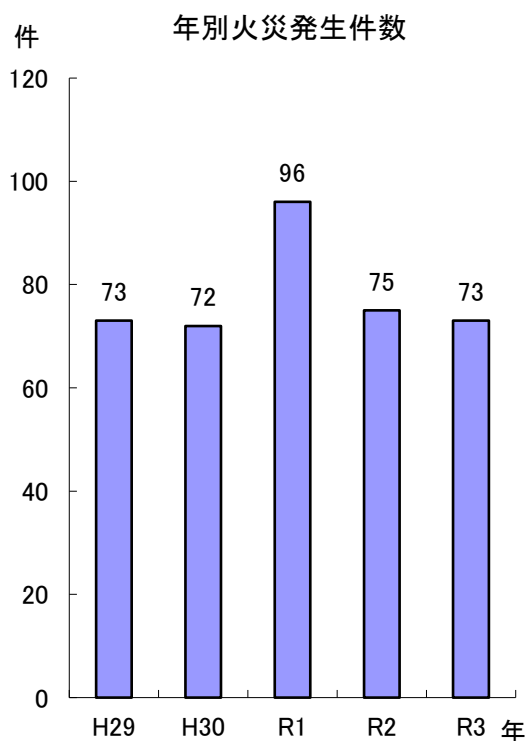


救急種別 救急件数



(ウ) 年別出動状況

| | 火災出動件数 | | | | | 救急出動件数 | | | | |
|------|--------|-----|----|----|----|--------|-------|-------|-------|-------|
| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
| 飯田市 | 35 | 35 | 54 | 34 | 33 | 4,450 | 4,705 | 4,694 | 4,268 | 4,315 |
| 松川町 | 4 | 4 | 9 | 4 | 8 | 480 | 465 | 452 | 419 | 444 |
| 高森町 | 2 | 7 | 7 | 11 | 7 | 507 | 601 | 537 | 497 | 566 |
| 阿南町 | 5 | 3 | 1 | 1 | 1 | 258 | 271 | 299 | 240 | 282 |
| 阿智村 | 11 | 5 | 7 | 6 | 8 | 389 | 424 | 380 | 330 | 337 |
| 平谷村 | 1 | | 3 | | 1 | 39 | 43 | 44 | 38 | 41 |
| 根羽村 | | 2 | | 2 | | 60 | 51 | 59 | 57 | 59 |
| 下條村 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 157 | 148 | 157 | 112 | 164 |
| 売木村 | 1 | | 2 | 2 | | 32 | 27 | 38 | 29 | 30 |
| 天龍村 | 2 | | 3 | | | 101 | 102 | 87 | 78 | 85 |
| 泰阜村 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 44 | 53 | 50 | 41 | 57 |
| 喬木村 | | 5 | 3 | 3 | 6 | 246 | 221 | 223 | 207 | 236 |
| 豊丘村 | 2 | 4 | | 5 | 5 | 279 | 291 | 252 | 220 | 257 |
| 大鹿村 | 3 | 3 | 2 | 2 | 1 | 60 | 69 | 54 | 49 | 58 |
| 中央道 | | | | | | 30 | 40 | 32 | 27 | 18 |
| 三遠南信 | | | | | | 1 | 5 | 2 | 2 | |
| 管轄外 | | | | | | 1 | 1 | 4 | 1 | |
| 合計 | 73 | 72 | 96 | 75 | 73 | 7,134 | 7,517 | 7,364 | 6,615 | 6,949 |



エ 消防機械等の現況

署所別配置状況

(令和4年4月1日現在)

| 機械等 | 署所 | 本部 | 飯田消防署 | | 伊賀良消防署 | | | 高森消防署 | | 阿南消防署 | | | 合計 |
|-------------|------|----|-------|------|--------|------|------|-------|-------|-------|------|------|--------|
| | | | 本署 | 羽場分署 | 本署 | 山本分署 | 龍江分署 | 本署 | 座光寺分署 | 本署 | 平谷分署 | 和田分署 | |
| ポンプ車 | | | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 13台 |
| 小型ポンプ付積載車 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 2台 |
| はしご車 | | | 1 | | | | | | | | | | 1台 |
| 化学車 | | | 1 | | | | | | | | | | 1台 |
| 救助工作車 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | 2台 |
| 水槽車 | | | | | | | | 1 | | | | | 1台 |
| 救急車 | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 13台 |
| 人員輸送車 | | 1 | | | | | | | | | | | 1台 |
| 資機材搬送車 | | | 2 | | | | | | | 2 | | | 4台 |
| 指揮車 | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | | | 4台 |
| 支援車 | | 3 | | | | | | | | | | | 3台 |
| 査察広報車 | | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 1 | 14台 |
| 一般車 | 連絡車等 | 3 | 1 | | | | | | | | | | 4台 |
| | 二輪車 | 1 | | | | | | | | | | | 1台 |
| 車輛合計 | | 11 | 13 | 3 | 6 | 3 | 3 | 8 | 3 | 8 | 3 | 3 | 64台 |
| 無人航空機(ドローン) | | | 1 | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 4 |
| ホース | 40mm | | | | | | | | | 15 | 10 | 9 | 34 |
| | 50mm | | 120 | 60 | 100 | 60 | 60 | 90 | 60 | 90 | 60 | 60 | 760 |
| | 65mm | | 68 | | 30 | | 30 | 3 | | 55 | 7 | 7 | 200 |
| 化学消火薬剤 | | | 2,160 | 100 | 160 | 100 | 100 | 120 | 180 | 280 | 200 | 120 | 3,520ℓ |
| 発砲管銃 | | | 11 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 25 |
| 消火原液吸入装置 | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 12 |
| 可搬式放水砲 | | | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| ファイヤーレンジャー | | | 26 | 8 | 20 | 8 | 8 | 20 | 8 | 20 | 8 | 8 | 134 |
| 空気呼吸器 | | | 38 | 5 | 18 | 4 | 5 | 13 | 4 | 12 | 5 | 5 | 109 |
| 空気ポンペ | 4.7ℓ | | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| | 6.8ℓ | | 35 | 8 | 20 | 8 | 6 | 13 | 8 | 19 | 6 | 6 | 129 |
| | 8ℓ | | 54 | 4 | 8 | 5 | 5 | 15 | 7 | 12 | 5 | 6 | 121 |
| | 9ℓ | | 4 | | 4 | | | | | | | | 8 |
| | 50ℓ | | 6 | | | | | | | | | | 6 |
| ゴムボート(船外機付) | | | 1 | | | | | | | 2 | | | 3 |
| エアータント | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | | | 4 |

オ 防火対象物の現況

(令和4年3月31日現在)

| 用途区分 | | 市町村別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------------------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|-------|-------|--|--|
| | | 飯田市 | | 松川町 | | 高森町 | | 阿南町 | | 阿智村 | | 平谷村 | | 根羽村 | | 下條村 | | 亮木村 | | 天龍村 | | 泰阜村 | | 喬木村 | | 豊丘村 | | 大鹿村 | | 合計 | | | |
| | | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | | |
| 1 | イ 劇場・映画館等 | 4 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 7 | | | |
| | ロ 公会堂・集会場 | 92 | 101 | 14 | 17 | 18 | 24 | 5 | 2 | 10 | 4 | | 1 | | 1 | 3 | 4 | | 1 | 1 | 8 | | 1 | 13 | 11 | 8 | 13 | 2 | 3 | 166 | 191 | | |
| 2 | イ キャバレー等 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| | ロ 遊技場/ダンスホール | 19 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 22 | 2 | | |
| | ハ 風俗営業等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ニ カラオケボックス等 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | |
| 3 | イ 待合・料理店 | 11 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 | 2 | | |
| | ロ 飲食店 | 46 | 122 | 5 | 11 | 6 | 12 | 1 | | 9 | 12 | | 1 | | 3 | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | 2 | | 3 | 69 | 169 | | | |
| 4 | 百貨店・マーケット | 146 | 98 | 14 | 12 | 9 | 14 | 4 | 3 | 5 | 6 | | 1 | 1 | | 1 | 4 | 1 | | | | | 5 | 3 | 5 | 2 | 1 | | 192 | 143 | | | |
| 5 | イ 旅館・ホテル | 55 | 18 | 5 | | 4 | 7 | 3 | 2 | 34 | 4 | 1 | 1 | 3 | 1 | 5 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | | 1 | 1 | 7 | 6 | 129 | 44 | | |
| | ロ 共同住宅・下宿等 | 188 | 642 | 9 | 28 | 11 | 45 | 5 | 13 | 2 | 18 | 1 | 2 | | 7 | 9 | 1 | 1 | 5 | 2 | 2 | 1 | 7 | 3 | 12 | 1 | 5 | 3 | 2 | 236 | 789 | | |
| 6 | イ 病院・診療所等 | 40 | 43 | 1 | 1 | 3 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | | 50 | 52 | | |
| | ロ 老人福祉施設等 | 38 | | 8 | 1 | 7 | | 10 | | 6 | | | | 1 | | 3 | | 1 | | 3 | | 1 | 3 | | 2 | | | | | 83 | 1 | | |
| | ハ デイサービス等 | 75 | 51 | 14 | 17 | 10 | 1 | 6 | 4 | 9 | 3 | 2 | | 1 | | 2 | | 2 | | 1 | 1 | 4 | 1 | 8 | 5 | 9 | | 2 | | 145 | 83 | | |
| | ニ 幼稚園・盲学校等 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 5 | | |
| 7 | 小・中・高等学校等 | 40 | | 4 | | 4 | 5 | 7 | | 7 | | 1 | | 2 | | 2 | | 1 | | 3 | | 2 | | 4 | | 3 | | 2 | | 82 | 5 | | |
| 8 | 図書館等 | 5 | 8 | | | 1 | | 2 | 1 | 1 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | 1 | | 1 | 1 | 14 | 14 | | |
| 9 | イ 蒸気・熱気浴場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ロ イ以外の公衆浴場 | 3 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 5 | 2 | | |
| 10 | 車両の停車場 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | |
| 11 | 神社・寺院等 | 41 | 44 | 3 | 10 | 6 | 8 | 1 | 3 | 1 | 5 | | | | 1 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 | | 61 | 79 | | | |
| 12 | イ 工場・作業場 | 366 | 346 | 59 | 60 | 53 | 82 | 10 | 16 | 19 | 24 | 1 | 1 | 2 | 3 | 12 | 6 | 1 | 5 | 4 | 4 | 2 | 5 | 20 | 15 | 29 | 24 | 2 | 2 | 580 | 593 | | |
| | ロ 映画スタジオ等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | イ 自動車車庫・駐車場 | 11 | 10 | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 12 | 15 | | |
| | ロ 飛行機格納庫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 倉庫 | 121 | 159 | 10 | 26 | 13 | 22 | | 6 | 1 | 6 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 3 | 4 | 5 | 11 | 1 | | 158 | 238 | | |
| 15 | 前各号に該当しない事業所 | 215 | 384 | 20 | 31 | 18 | 33 | 7 | 27 | 14 | 26 | 2 | 13 | 9 | 5 | 8 | 7 | 2 | 2 | 6 | 7 | 4 | 5 | 14 | 16 | 8 | 20 | 2 | 8 | 329 | 584 | | |
| 16 | イ 複合用途防火対象物 | 353 | 325 | 32 | 36 | 18 | 23 | 14 | 2 | 26 | 13 | 7 | 4 | 5 | 2 | 8 | 2 | 5 | 4 | 4 | 3 | 6 | 1 | 9 | 6 | 11 | 3 | 5 | 3 | 503 | 427 | | |
| | ロ 上記以外の複合用途防火対象物 | 101 | 346 | 9 | 36 | 4 | 26 | 4 | 1 | 6 | 5 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 1 | | | 4 | 1 | 5 | 7 | 5 | 3 | 2 | 2 | 144 | 432 | | |
| 17 | 重要文化財等 | 15 | 3 | | | 2 | | | 1 | 2 | | | | | 1 | | | | | | | 6 | | | | | | | | 20 | 11 | | |
| 18 | 延長50m以上のアーケード | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 1,994 | 2,708 | 209 | 287 | 191 | 309 | 81 | 82 | 154 | 130 | 16 | 28 | 28 | 29 | 59 | 29 | 20 | 22 | 28 | 28 | 27 | 31 | 98 | 82 | 94 | 85 | 31 | 30 | 3,030 | 3,880 | | |

カ 予防査察実施状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

| 用途区分 | | 署別 | | 伊賀良消防署 | | 高森消防署 | | 阿南消防署 | | 合計 | |
|------|---|-------|---|--------|---|-------|---|-------|----|-------|----|
| | | 飯田消防署 | | 防火対象物 | | 防火対象物 | | 防火対象物 | | 防火対象物 | |
| | | 甲 | 乙 | 甲 | 乙 | 甲 | 乙 | 甲 | 乙 | 甲 | 乙 |
| 1項 | イ | | | | | | | | | | |
| | ロ | 8 | | 2 | | 6 | | 4 | 1 | 20 | 1 |
| 2項 | イ | | | | | | | | | | |
| | ロ | | | 1 | | 2 | | | | 3 | |
| | ハ | | | | | | | | | | |
| 3項 | イ | | | | | | | | | | |
| | ロ | 2 | 5 | 1 | 1 | 1 | | 5 | 1 | 9 | 7 |
| 4項 | | 12 | | 12 | | 14 | 1 | 1 | | 39 | 1 |
| 5項 | イ | 2 | | 9 | | 4 | 2 | 26 | 4 | 41 | 6 |
| | ロ | | | | | | | | | | |
| 6項 | イ | | | | | 1 | | | | 1 | |
| | ロ | | | 1 | | 1 | | | | 2 | |
| | ハ | 4 | | 3 | | 3 | | 1 | | 11 | |
| | ニ | | | | | | | | | | |
| 7項 | | | | | | | 3 | | 3 | | |
| 8項 | | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 9項 | イ | | | | | | | | | | |
| | ロ | | | | | | | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 10項 | | | | | | | | | | | |
| 11項 | | | | | | | | 1 | | 1 | |
| 12項 | イ | 1 | | 1 | | 6 | 1 | 2 | | 10 | 1 |
| | ロ | | | | | | | | | | |
| 13項 | イ | | | | | 1 | | 1 | | 2 | |
| | ロ | | | | | | | | | | |
| 14項 | | | | 10 | 5 | | 6 | | 11 | 10 | |
| 15項 | | 1 | | 1 | | 4 | | 7 | | 13 | |
| 16項 | イ | 34 | 4 | 1 | 1 | 8 | 1 | 9 | | 52 | 6 |
| | ロ | | | 2 | | 1 | 1 | 1 | | 4 | 1 |
| 17項 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | 226 | 34 |

防火管理者資格取得講習会実施状況（昭和36年～令和3年 講習取得累計 9,738人）

| | | | | |
|-------|----|------|----|-----|
| 平成30年 | 甲種 | 174人 | 乙種 | 16人 |
| 令和元年 | 甲種 | 141人 | 乙種 | 11人 |
| 令和2年 | 甲種 | 134人 | 乙種 | 12人 |
| 令和3年 | 甲種 | 173人 | 乙種 | 13人 |

キ 建築同意事務件数

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

| 用途区分 | | 同意内容 | 新築 | 増築 | 改築 | 移転 | 修繕 | 模様替 | 用途変 | その他 | 計 |
|------|---|----------------|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | イ | 劇場・映画館等 | | | | | | | | | |
| | ロ | 公会堂・集会場 | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| 2 | イ | キャバレー等 | | | | | | | | | |
| | ロ | 遊技場/ダンスホール | | | | | | | | | |
| | ハ | 風俗営業等 | | | | | | | | | |
| | ニ | カラオケボックス等 | | | | | | | | | |
| 3 | イ | 待合・料理店 | | | | | | | | | |
| | ロ | 飲食店 | 4 | | | | | | 1 | | 5 |
| 4 | | 百貨店・マーケット | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| 5 | イ | 旅館・ホテル | | | | | | | | | |
| | ロ | 共同住宅・下宿等 | 12 | 2 | | | | | | | 14 |
| 6 | イ | 病院・診療所等 | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| | ロ | 老人福祉施設等 | 3 | | | | | | | | 3 |
| | ハ | デイサービス等 | 7 | | | | | | 3 | | 10 |
| | ニ | 幼稚園・盲学校等 | | | | | | | | | |
| 7 | | 小・中・高等学校等 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 8 | | 図書館等 | | 3 | | | | | | | 3 |
| 9 | イ | 蒸気・熱気浴場 | | | | | | | | | |
| | ロ | イ以外の公衆浴場 | | | | | | | | | |
| 10 | | 車両の停車場 | | | | | | | | | |
| 11 | | 神社・寺院等 | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| 12 | イ | 工場・作業場 | 15 | 21 | | | | | | | 36 |
| | ロ | 映画スタジオ等 | | | | | | | | | |
| 13 | イ | 自動車車庫・駐車場 | 2 | | | | | | | | 2 |
| | ロ | 飛行機格納庫 | | | | | | | | | |
| 14 | | 倉庫 | 21 | 10 | | 1 | | | | | 32 |
| 15 | | 前各号に該当しない事業所 | 22 | 4 | | | | | | | 26 |
| 16 | イ | 複合用途防火対象物 | 9 | 2 | | | | | 2 | | 13 |
| | ロ | 上記以外の複合用途防火対象物 | 3 | 2 | | | | | | | 5 |
| 17 | | 重要文化財等 | | | | | | | | | |
| 18 | | 延長50m以上のアーケード | | | | | | | | | |
| 一般 | | 専用住宅 | 42 | 2 | | | | | | | 44 |
| | | 併用住宅 | | | | | | | | | |
| | | その他 | 25 | 12 | | | | | | | 37 |
| 合 計 | | | 169 | 63 | | 1 | | | 6 | | 239 |

ク 危険物施設の状況

(令和4年3月31日現在)

| 危険物施設 区別 | 計 | 製 造 所 | 小 計 | 屋 内 貯 蔵 所 | 屋 外 タン ク 貯 蔵 所 | 特定 屋外 | 屋 内 タン ク 貯 蔵 所 | 地 下 タン ク 貯 蔵 所 | 簡 易 タン ク 貯 蔵 所 | 移 動 タン ク 貯 蔵 所 | 14k 超 トレ ー ラー | 屋 外 貯 蔵 所 | 小 計 | 給 油 取 扱 所 | 第 1 種 販 売 取 扱 所 | 第 2 種 販 売 取 扱 所 | 一 般 取 扱 所 | 事 業 所 数 |
|-------------|--------------------|-------------|--------|-----------------------|----------------------------------|----------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------|------------------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 742 | 3 | 517 | 101 | 46 | 0 | 13 | 199 | 4 | 147 | 18 | 7 | 222 | 139 | 6 | 0 | 77 | 430 |
| 数量別 | 5倍以下 | 340 | | 286 | 53 | 12 | | 9 | 89 | 4 | 115 | | 4 | 54 | 11 | 2 | | 41 |
| | 5倍を超え 10倍以下 | 152 | 1 | 118 | 28 | 9 | | 4 | 74 | | | 3 | 33 | 11 | 2 | | 20 | |
| | 10倍を超え50 倍以下 | 116 | 2 | 61 | 17 | 13 | | | 28 | | 3 | | 53 | 37 | 2 | | 14 | |
| | 50倍を超え 100倍以下 | 49 | | 30 | 1 | 6 | | | 5 | | 18 | 8 | 19 | 18 | | | 1 | |
| | 100倍を超え 150倍以下 | 33 | | 15 | 2 | 1 | | | 1 | | 11 | 10 | 18 | 18 | | | | |
| | 150倍を超え 200倍以下 | 21 | | 2 | | 1 | | | 1 | | | | 19 | 18 | | | 1 | |
| | 200倍を超え 1000倍以下 | 30 | | 4 | | 3 | | | 1 | | | | 26 | 26 | | | | |
| | 1000倍を超えるもの | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | 0 | | | | | |
| 類別 | 単 独 | 第1類 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | 0 | | | | | |
| | | 第2類 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | 0 | | | | | |
| | | 第3類 | 0 | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | |
| | | 第4類 | 737 | 3 | 512 | 96 | 46 | | 13 | 199 | 4 | 147 | 18 | 7 | 222 | 139 | 6 | 77 |
| | | 第5類 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | 0 | | | | |
| | | 第6類 | 0 | | 0 | | | | | | | | | 0 | | | | |
| | 混在 | 2 | | 2 | 2 | | | | | | | | 0 | | | | | |
| 飯田市 | 361 | 1 | 243 | 59 | 24 | | 5 | 83 | 2 | 67 | 6 | 3 | 117 | 66 | 6 | | 45 | |
| 松川町 | 81 | 2 | 48 | 10 | 7 | | 1 | 16 | | 14 | | | 31 | 17 | | | 14 | |
| 高森町 | 72 | | 56 | 12 | 2 | | | 18 | | 22 | 11 | 2 | 16 | 12 | | | 4 | |
| 阿南町 | 29 | | 21 | 2 | 1 | | 1 | 10 | | 7 | | | 8 | 6 | | | 2 | |
| 阿智村 | 63 | | 49 | 7 | 1 | | | 34 | 2 | 5 | | | 14 | 9 | | | 5 | |
| 平谷村 | 12 | | 9 | | 1 | | | 5 | | 2 | | 1 | 3 | 2 | | | 1 | |
| 根羽村 | 7 | | 5 | | 1 | | 1 | 1 | | 2 | | | 2 | 2 | | | | |
| 下條村 | 19 | | 15 | 2 | 1 | | 1 | 8 | | 3 | | | 4 | 3 | | | 1 | |
| 売木村 | 10 | | 5 | | | | | 4 | | 1 | | | 5 | 4 | | | 1 | |
| 天龍村 | 10 | | 9 | | | | 2 | 5 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | |
| 泰阜村 | 15 | | 12 | 2 | 1 | | 1 | 6 | | 2 | | | 3 | 3 | | | | |
| 喬木村 | 32 | | 27 | 2 | 6 | | | 3 | | 16 | | | 5 | 4 | | | 1 | |
| 豊丘村 | 19 | | 11 | 4 | 1 | | | 4 | | 1 | | 1 | 8 | 5 | | | 3 | |
| 大鹿村 | 12 | | 7 | 1 | | | 1 | 2 | | 3 | | | 5 | 5 | | | | |
| 計 | 742 | 3 | 517 | 101 | 46 | 0 | 13 | 199 | 4 | 147 | 17 | 7 | 222 | 139 | 6 | 0 | 77 | |

「特定屋外」は「屋外タンク貯蔵所」の内数を表し、「14k超トレーラー」は「移動タンク貯蔵所」の内数を表す。

ケ 危険物施設立入実施数

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

| 危険物施設 | 署別 予防課 | 飯田 消防署 | 伊賀良 消防署 | 高森 消防署 | 阿南 消防署 | 合計 |
|----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----|
| 製造所 | | | | | | |
| 屋内貯蔵所 | 3 | 1 | | 2 | | 6 |
| 屋外貯蔵所 | 1 | | | | | 1 |
| 屋外タンク貯蔵所 | | | 3 | | | 3 |
| 屋内タンク貯蔵所 | | | | | 1 | 1 |
| 地下タンク貯蔵所 | 10 | 2 | 2 | 7 | 8 | 29 |
| 簡易タンク貯蔵所 | | | | | | |
| 移動タンク貯蔵所 | 17 | | | 1 | | 18 |
| 給油取扱所 | 40 | | | | | 40 |
| 第1種販売取扱所 | | | | | | |
| 第2種販売取扱所 | | | | | | |
| 一般取扱所 | 6 | | | | 4 | 10 |
| 合計 | 77 | 3 | 5 | 10 | 13 | 108 |

コ 各種申請届出書受理件数

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

| 区分 | | 受理 件数 | 区分 | | 受理 件数 |
|---------------------|-----|----------|-------------------|--|----------|
| 危険物製造所等 設置変更許可申請 | 製造所 | | 防火対象物使用開始届 | | 154 |
| | 貯蔵所 | 25 | 火を使用する設備等の設置届 | | 44 |
| | 取扱所 | 28 | 発電・変電・蓄電設備設置届 | | 64 |
| 危険物製造所等 完成審査申請 | 製造所 | | ネオン管灯設備設置届 | | |
| | 貯蔵所 | 23 | 少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届 | | 100 |
| | 取扱所 | 28 | 圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届 | | 27 |
| 危険物製造所等 譲渡引渡届出 | 製造所 | | 防火管理者選・解任届 | | 330 |
| | 貯蔵所 | 37 | 消防計画届 | | 400 |
| | 取扱所 | 18 | 消防設備設置届 | | 293 |
| 危険物製造所等 廃止届出 | 製造所 | | 消防用設備点検結果報告 | | 3,129 |
| | 貯蔵所 | 20 | 防火対象物点検結果報告 | | 142 |
| | 取扱所 | 3 | 防火対象物権原者変更届 | | 15 |
| 水張水圧検査申請書 | | 7 | 防火対象物特例認定申請等 | | 15 |
| 危険物製造所等休止(再開)届 | | | 高圧ガス販売施設等の意見書交付申請 | | |
| 危険物仮貯蔵・仮使用・仮取扱承認願 | | 79 | 消防法令適合通知書交付申請 | | 15 |
| 危険物保安監督者選解任届 | | 33 | り災証明申請 | | 45 |
| 危険物製造所等品名数量変更届 | | 6 | | | |
| 予防規程認可□変更申請書 | | 1 | | | |

(11) ごみ処理施設の設置、管理及び運営

ア ごみ処理施設

(ア) 概要

a 構成

1市3町9村

(飯田市・松川町・高森町・阿南町・阿智村・平谷村・下條村・売木村・天龍村・
泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村)

b ごみ処理施設

稲葉クリーンセンター (敷地面積 : 7.14ha)

(建屋面積 : 工場棟 2,367.30 m² / 計量棟 142.63 m² / 管理棟 528.11 m²)

c 処理能力

93 t / 日

(イ) 当面の課題

a 稲葉クリーンセンター

施設の運営にあたっては、近隣住民との信頼関係を大切にし、周辺環境に配慮しながら、施設の安全で安定的な運営、管理を行っていくと共に、ごみの焼却処理により発生する熱エネルギーを有効活用していく。

また、搬入されるごみの量が、開設時の計画値を上回る状況が継続していることから、環境学習講座を通じ意識の高揚を図るとともに、構成市町村と連携し、ごみの分別の徹底、減量化を啓発・推進していく。

b 桐林クリーンセンター (旧ごみ処理施設)

閉所した施設の適切な管理に努め、後利用の方向性について環境産業公園という位置づけの中、桐林クリーンセンター周辺を一団の土地として産業系での利活用の検討を進める。

イ ごみ処理の状況

(単位 : t)

| | 桐 林 クリーンセンター | 稲葉クリーンセンター | | | | | |
|-----|-----------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | H29 | H29 合計 | H30 | R1 | R2 | R3 | |
| 飯田市 | 7,483.79 | 12,501.06 | 19,984.85 | 21,205.74 | 21,120.91 | 21,381.89 | 21,123.22 |
| 松川町 | 636.69 | 1,047.10 | 1,683.79 | 1,765.52 | 1,815.09 | 1,803.34 | 1,773.52 |
| 高森町 | 469.89 | 912.54 | 1,382.43 | 1,520.03 | 1,503.84 | 1,607.45 | 1,567.39 |
| 阿南町 | 145.15 | 260.62 | 405.77 | 449.32 | 480.23 | 497.25 | 506.92 |
| 阿智村 | 426.41 | 909.15 | 1,335.56 | 1,564.18 | 1,534.50 | 1,477.88 | 1,444.08 |
| 平谷村 | 6.92 | 21.53 | 28.45 | 41.03 | 39.18 | 39.68 | 44.57 |
| 下條村 | 113.69 | 200.36 | 314.05 | 337.10 | 356.39 | 388.64 | 377.70 |
| 売木村 | 19.72 | 33.96 | 53.68 | 61.85 | 69.36 | 61.65 | 59.37 |
| 天龍村 | 53.53 | 97.91 | 151.44 | 154.74 | 177.35 | 157.47 | 162.81 |
| 泰阜村 | 60.55 | 74.86 | 135.41 | 130.50 | 139.06 | 140.09 | 137.66 |
| 喬木村 | 223.57 | 473.15 | 696.72 | 764.37 | 803.19 | 863.35 | 842.13 |
| 豊丘村 | 189.99 | 377.12 | 567.11 | 658.90 | 677.06 | 764.77 | 758.56 |
| 大鹿村 | 38.96 | 53.97 | 92.93 | 89.12 | 95.99 | 103.25 | 98.62 |
| 合 計 | 9,868.86 | 16,963.33 | 26,832.19 | 28,742.40 | 28,812.15 | 29,286.71 | 28,896.55 |
| 前年比 | 108.88% | | | 107.12% | 100.24% | 101.65% | 98.67% |

ウ 桐林リサイクルセンター

(ア) 概要

桐林リサイクルセンターは、循環型社会形成推進が目的の施設であり、リユース品の受け渡しと環境学習講座による啓発を行っている。平成 23 年から運用を開始し、10 年が経過している。

(イ) 当面の課題

3R (リデュース、リユース、リサイクル) の推進を目指しリユース事業を展開すると共に、循環型社会形成・推進に向け、環境学習を拡充させ、環境意識の向上に努める。

エ 桐林リサイクルセンターの状況

(令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月)

| | 受入数 (件) | 引渡数 (件) | 手数料 (円) |
|-----|-------------|-------------|---------|
| 家 具 | 109 (63) | 81 (63) | 110,100 |
| 雑 貨 | 1,931 (212) | 1,743 (486) | 4,500 |
| 書 籍 | 667 (55) | 611 (173) | 無料 |
| 衣 類 | 6,818 (235) | 3,493 (631) | 無料 |

オ 環境測定結果(稲葉クリーンセンター)

(ア) 排ガス測定結果

a ダイオキシシン類

調査機関：環境未来株式会社 総合検査センター

測定結果

(単位：ng-TEQ/m³N)

| 測定項目 | 炉 | 測定日 | | | | 協定値 (国基準値) |
|----------|-----|----------|----------|------------|----------|-----------------|
| | | R3. 5. 6 | R3. 8. 2 | R3. 11. 11 | R4. 1. 5 | |
| ダイオキシシン類 | 1号炉 | 0.00063 | 0.0010 | 0.0019 | 0 | 0.05以下 (5以下) |
| | 2号炉 | 0.000071 | 0.0088 | 0.00000018 | 0 | |

※ 1・2号炉両系統共、国及び地元協定値を下回っている。

※ 単位「ng」は、1gの10億分の1の濃度。

※ 測定結果欄の『0』と表示されている数値は定量下限値未満であったことを示している。

b ばい煙測定

調査機関：環境未来株式会社 総合検査センター

測定結果

| 測定項目 (単位) | 炉 | 測定日 | | | | | | 協定値 (国基準値) |
|--|-----|----------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------------------|
| | | R3. 5. 6 | R3. 7. 6 | R3. 8. 2 | R3. 9. 1 | R3. 11. 11 | R4. 3. 2 | |
| ばいじん (g/m ³ N) | 1号炉 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | 0.01以下 (0.15以下) |
| | 2号炉 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | < 0.002 | |
| 硫黄酸化物 (ppm) | 1号炉 | 18 | 7.8 | 5.7 | 2.9 | 22 | 9.5 | 50ppm以下 (K値17.5以下) |
| | 2号炉 | 37 | 4.2 | 5.6 | 5.6 | 19 | 7.7 | |
| 窒素酸化物 (cm ³ /m ³ N) | 1号炉 | 63 | 58 | 61 | 59 | 47 | 58 | 100以下 (250以下) |
| | 2号炉 | 57 | 53 | 56 | 59 | 49 | 67 | |
| 塩化水素 (mg/m ³ N) | 1号炉 | 34 | 20 | 9 | 1 | 53 | 18 | 82以下 (700以下) |
| | 2号炉 | 51 | 10 | 15 | 5 | 53 | 28 | |
| 全水銀 (μg/m ³ N) | 1号炉 | 測定無し | 0.71 | 測定無し | 測定無し | 測定無し | 測定無し | 50以下 (50以下) |
| | 2号炉 | 測定無し | 0.44 | 測定無し | 測定無し | 測定無し | 測定無し | |

※ 1・2号炉両系統共、国及び地元協定値を下回っている。

※ ばい煙測定は2か月に1回行っている。

※ 測定結果欄の“<”と表示されている数値は定量下限値未満であったことを示している。

※ 全水銀測定は年2回(8月・1月)実施した。

(イ) 焼却灰等ダイオキシン類

調査機関：環境未来株式会社 総合検査センター

(単位：ng-TEQ/g)

| 測定項目 | 採取場所 | 測定日 | | | | 協定値 (国基準値) |
|-------|--------|----------|----------|------------|----------|---------------|
| | | R3. 5. 1 | R3. 7. 5 | R3. 10. 21 | R4. 1. 5 | |
| 焼却灰 | 焼却灰ピット | 0.00076 | 0.00045 | 0.0021 | 0.0019 | 3 以下 |
| 飛灰処理物 | 処理物ピット | 0.20 | 0.23 | 0.32 | 0.16 | |

※ いずれも国及び地元協定値を下回っている。

(ウ) 周辺土壌中ダイオキシン類

(測定日：令和3年11月4日)

調査機関：(株)環境技術センター

下久堅地区

(単位：pg-TEQ/g)

| | | R 1 | R 2 | R 3 | 国基準 1000 (調査指標 250 以上) |
|----|---------------------|------|--------|--------|------------------------------|
| 1 | 稲葉峠付近 (県道米川駄科(停)線沿) | | | 0.042 | |
| 2 | 社会福祉法人あゆみ会 南原苑付近 | 0.12 | | | |
| 3 | 下久堅柿野沢 3517-7 三石宅付近 | | | 0.14 | |
| 4 | 下久堅柿野沢南集会所付近 | | | 0.0012 | |
| 5 | 下久堅柿野沢 1945-3 下平宅付近 | | | 2.0 | |
| 6 | 下久堅柿野沢 714 三石宅付近 | 0.17 | | | |
| 7 | 柿野沢区民センター付近 | 0.33 | | | |
| 8 | 知久平統合簡易水道牧野内減圧槽付近 | | 0.099 | | |
| 9 | 小林農家組合農業生活改善センター付近 | 1.3 | | | |
| 10 | 南原配水池付近 | | | 1.7 | |
| 11 | 南原第5集会所付近 | 0.95 | | | |
| 12 | 下久堅南原 1004-2 付近 | | 6.3 | | |
| 13 | 南原区民センター付近 | | 0.17 | | |
| 14 | 下久堅自治振興センター付近 | | 0.0018 | | |

上久堅地区

| | | R 1 | R 2 | R 3 | 国基準 1000 (調査指標 250 以上) |
|---|-----------------------|-------|------|-----|------------------------------|
| 1 | 大鹿区民センター付近 | 0.066 | | | |
| 2 | 上久堅(大鹿)8826 木下宅付近 | | | 8.4 | |
| 3 | 上久堅(堂平)11887-10 中山宅付近 | | 0.13 | | |

龍江地区

| | | R 1 | R 2 | R 3 | 国基準 1000 (調査指標 250 以上) |
|---|---------------------------|------|------|-------|------------------------------|
| 1 | ふれあい広場 文吾の里付近 | | | 0.10 | |
| 2 | 龍江(大屋敷)9555-14 四百目宅付近 | | 33 | | |
| 3 | 竜東中学校付近 | | 0.20 | | |
| 4 | 龍江(尾科)9380-23 三石宅付近 | 3.2 | | | |
| 5 | (仮称)龍江 IC 付近 | | | 0.084 | |
| 6 | 農事組合法人 ヤマギシズム生活飯田実顕地付近 | 0.03 | | | |

※ 測定結果はいずれも国基準値を下回っている。

※ 調査は、各地区3年で1サイクルになるよう計画されている。

※ 単位「p g」は、1兆分の1の濃度。

※ 平成11年12月27日環境庁告示第68号により、調査指標250以上の場合には必要な調査を実施することとされている。

(12) し尿処理施設の配置、管理及び運営

ア 概要

(ア) 構成

1市2町3村

(飯田市・松川町・高森町・喬木村・豊丘村・大鹿村)

(イ) し尿処理施設

飯田竜水園

(ウ) 処理規模

75kℓ/日

イ 当面の課題

各市町村の農業集落排水処理施設が更新期を迎えており、飯田竜水園への計画的な搬入を行うとともに、適正かつ効率的な運営、処理を行う。

また、周辺地域への環境影響に配慮し、安全で安定した処理の推進に取り組む。

し尿処理の状況

(単位：kℓ)

| | H29 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 飯田市 | 11,903.61 | 11,715.94 | 11,193.73 | 10,678.29 | 11,059.21 |
| 松川町 | 4,109.23 | 4,459.05 | 4,069.87 | 4,078.52 | 4,113.68 |
| 高森町 | 2,855.62 | 2,628.06 | 2,488.01 | 2,338.61 | 2,417.40 |
| 喬木村 | 912.72 | 1,015.38 | 983.69 | 905.38 | 987.52 |
| 豊丘村 | 1,184.58 | 1,262.51 | 1,181.30 | 1,137.71 | 1,266.37 |
| 大鹿村 | 556.27 | 578.28 | 573.02 | 576.22 | 522.60 |
| 合計 | 21,522.03 | 21,659.22 | 20,489.62 | 19,714.73 | 20,366.78 |
| 前年比 | 99.06% | 100.64% | 94.60% | 96.22% | 100.60% |

10 各会計の予算・決算の状況

(単位：千円)

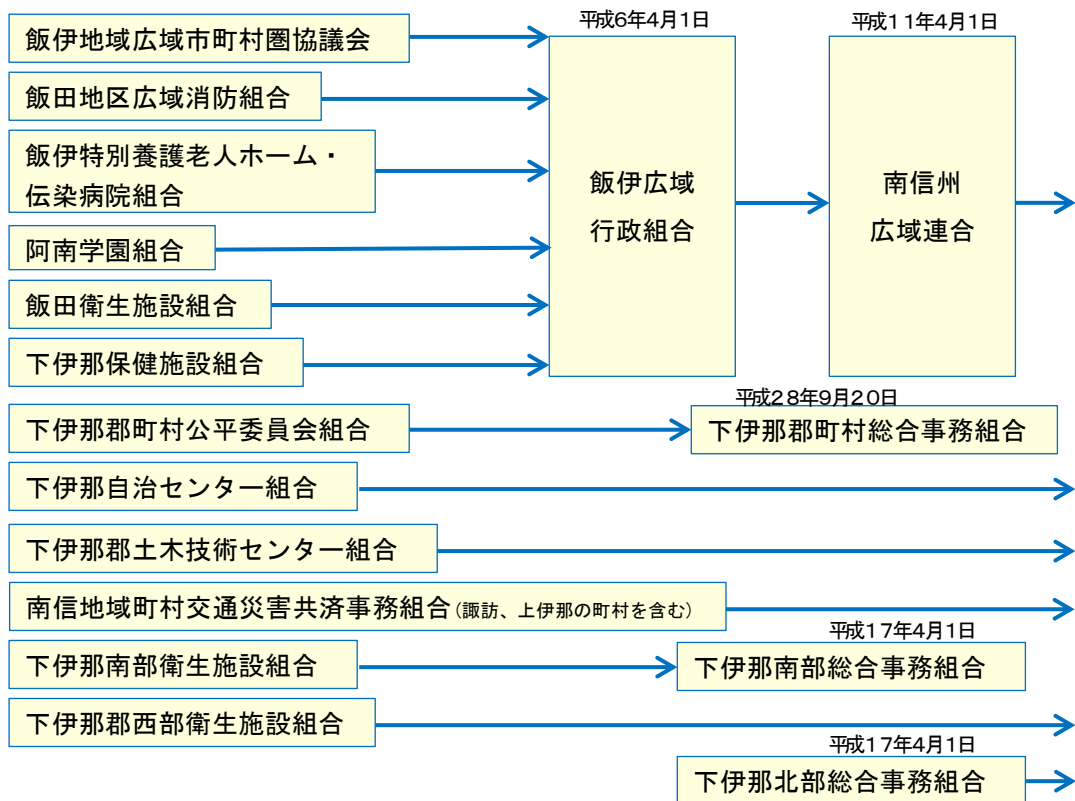
| 会計区分 | 令和4年度 当初予算額 | 令和2年度 歳出決算額 |
|----------------|----------------|----------------|
| 一般会計 | 1,717,600 | 1,710,051 |
| 南信州広域振興基金特別会計 | 11,000 | 4,795 |
| 飯田広域消防特別会計 | 2,391,300 | 2,237,875 |
| 稲葉クリーンセンター特別会計 | 137,640 | 152,827 |
| 合 計 | 4,257,540 | 4,105,548 |

11 広域行政の歩み

(1) 飯田下伊那地域における広域行政の歩み

| 年 月 | 内 容 |
|----------|-----------------------------|
| 昭和44年 9月 | 飯伊地域広域行政市町村圏協議会設立（1市5町14村） |
| 昭和45年 3月 | 飯伊地域広域市町村計画策定（S45～S54） |
| 昭和49年 4月 | 飯伊特別老人ホーム・伝染病院組合設立 |
| 昭和54年 8月 | 三全総によるモデル定住圏指定 |
| 昭和55年 3月 | 新広域市町村圏計画策定（S55～S64） |
| 平成 2年 3月 | 第2次新広域市町村圏計画策定（H2～H11） |
| 平成 5年 2月 | 飯伊地方拠点都市地域指定（1市4町14村） |
| 平成 5年12月 | 飯伊地方拠点都市地域基本計画策定 |
| 平成 6年 4月 | 飯伊広域行政組合発足（6団体を複合化 1市3町14村） |
| 平成 6年 7月 | ふるさと市町村圏に選定 |
| 平成11年 4月 | 南信州広域連合設立 |
| 平成12年 8月 | 飯伊地域ふるさと市町村圏計画策定（H12～H21） |
| 平成21年 7月 | 南信州定住自立圏形成協定締結（1市3町10村） |
| 平成22年11月 | リニア将来ビジョン策定 |

(2) 飯田・下伊那地域における一部事務組合等



12 その他

(1) 広域連合広域計画策定状況

| 計 画 名 | 計 画 期 間 |
|------------------|-----------------------|
| 第1次計画 | 平成11～16年度 |
| 第2次計画 | 平成17～21年度 |
| 第3次計画 | 平成23～27年度 |
| 第4次計画「基本構想・基本計画」 | 平成27～36年度（基本計画は～31年度） |
| 第4次計画 後期基本計画 | 令和2～6年度 |

(2) 主な会議の開催状況

| 会議の名称 | 開催頻度 | 出席者 |
|---------|-----------------------|--------------------------------------|
| 広域連合会議 | 月1回 | 市町村長、南信州地域振興局長、飯田建設事務所長、飯田保健福祉事務所長ほか |
| 正副連合長会議 | 月1回（広域連合会議の1週間前程度） | 正副連合長、部会長 |
| 専門部会 | 月1回（広域連合会議に合わせて開催） | 専門部会所属町村長 |
| 幹事会 | 議会本会議の前に開催 | 構成市町村総務担当課長 |
| 議会本会議 | 定例会2回 臨時会2回程度 | 広域連合議員、市町村長 |
| 議会全員協議会 | 年4回程度（本会議に合わせての開催を含む） | 広域連合議員、市町村長 |
| 議会常任委員会 | 年4回程度 | 広域連合議員（議長を除く） |

(3) 共同事務の経費負担（抜粋）

| 共同事務 | 一般事務 | 常備消防 | 介護認定審査会の設置及び運営 | 障がい程度区分審査判定審査会 | 地域生活支援事業（相談支援事業） | 老人ホーム（擁護、特養）入所調整 | ごみ処理施設設置、管理及び運営 | し尿処理施設設置、管理及び運営 |
|-------|------------------|--------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|--|--|
| 負担市町村 | 14市町村 | 14市町村 | 14市町村 | 14市町村 | 14市町村 | 14市町村 | 根羽村を除く13市町村 | 飯田市 松川町 高森町 喬木村 豊丘村 大鹿村 |
| 負担割合 | 均等割10% 人口割90% | 前年度の地方交付税における消防費の基準財政需要額に応じた割合 | 均等割15% 申請者数割85% | 均等割15% 申請者数割85% | 均等割15% 相談件数割85% | 均等割10% 人口割90% | 建設費均等割10% 人口割70% 利用平均実績割20% 運営費均等割15% 利用実績割85% | 均等割13% 利用実績割87% |

(4) 南信州定住自立圏

「定住自立圏構想」の推進

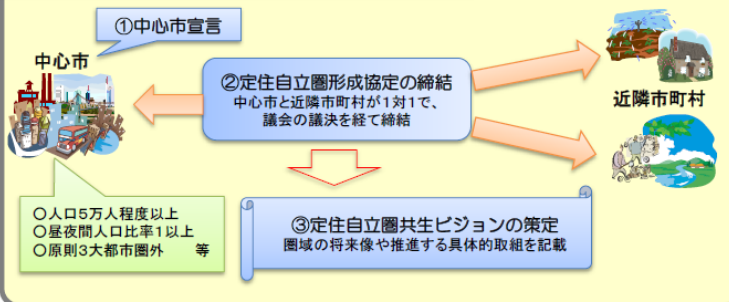
定住自立圏構想の意義

中心市と近隣市町村が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保する「定住自立圏構想」を推進し、地方圏における定住の受け皿を形成する。

【圏域に求められる役割】

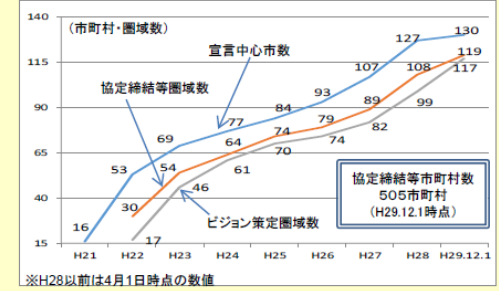
- ①生活機能の強化（休日夜間診療所の運営、病児・病後児保育の実施、消費生活法律相談の実施、地場産業の育成 等）
- ②結びつきやネットワークの強化（デマンドバスの運行、滞在型・体験型観光・グリーンツーリズムの推進、生活道路の整備 等）
- ③圏域マネジメント能力の強化（合同研修の実施や職員の人事交流、外部専門家の招へい 等）

圏域形成に向けた手続



定住自立圏構想への取組状況

KPI: 2020年 140圏域 (H29.12.1現在 119圏域)



定住自立圏に取り組む市町村に対する支援

特別交付税

- ・包括的財政措置(平成26年度から大幅に拡充)
(中心市 4,000万円程度→8,500万円程度)
(近隣市町村 1,000万円→1,500万円)
- ・外部人材の活用に関する経費に対する財政措置
- ・地域医療の確保に要する経費に対する財政措置 等

地方債

- ・地域活性化事業債を充当※(充当率90%、交付税算入率30%)
- ※医療・福祉、産業振興、公共交通の3分野に限る

各省による支援策

- ・地域公共交通の確保や教育環境の整備支援など、定住自立圏構想推進のための関係各省による事業の優先採択

出典：総務省

ア 経過

- 平成 21 年 3 月 24 日 中心市宣言(飯田市)
- 平成 21 年 7 月 14 日 定住自立圏形成協定の締結(飯田市と 13 町村)
- 平成 21 年 12 月 24 日 南信州定住自立圏共生ビジョン策定 改訂・変更し現在に至る

※ 定住自立圏は広域連合の取組みを補完するものであり、定住自立圏構想に関する市町村間協議は、主に広域連合の場で行われている。

イ 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組(共生ビジョン R2.4.1改訂より)

| (1) 生活機能の強化に係る政策分野 | |
|--------------------|--|
| 医療 | 休日夜間急患診療所の運営 在宅当番医制、病院群輪番制並びに歯科及び調剤当番制 大規模災害医療救護体制の整備 飯田下伊那診療情報連携システム ism-Link への支援 |
| 福祉 | 圏域健康計画の策定 病児・病後児保育事業の実施 成年後見支援センターの設置 |
| 産業振興 | (公財)南信州・飯田産業センター運営等 鳥獣害防止総合対策 |
| 環境 | 環境文化都市及び環境モデル都市の取組の普及拡大 |

| | |
|---------------------------|---|
| 教育及び文化 | 図書館ネットワークシステムの構築 |
| (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 | |
| 地域公共交通ネットワークの構築 | 乗合タクシー上市田線、路線バス阿島線、路線バス大鹿線、豊丘村村営バス(一部)、喬木村民バス(一部)、路線バス駒場線、西部コミュニティバス、路線バス・乗合タクシー平岡線、路線バス遠山郷線、路線バス阿南線、路線バス温田線 |
| 地域情報共有システムの構築 | 電子メール配信システムの運営 ケーブルテレビによるデータ放送システムの運営 |
| 戸籍情報処理に係る電算システム機器の一部の共同利用 | 戸籍情報処理に係る電算システム機器の一部の共同利用 |
| 圏域内外の住民との交流及び移住の促進 | 飯田市中心市街地活性化事業 飯田市天龍峡活性化事業 「市田柿発祥の郷」賑わい創出事業 かじかの湯施設改修事業 昼神温泉活性化事業 ひまわりの湯・平谷高原スキー場・平谷湖フィッシングスポット施設改修事業 根羽村観光拠点施設周辺景観整備事業 賑わい拠点道の駅下條活性化事業 こまどりの湯・自然休養村等施設改修事業／クロスカントリーコース整備事業／Uフェス～うるぎ村ふるさと体験フェス／田舎体験型観光事業 おきよめの湯、おきよめの郷及びふれあいステーション龍泉閣等活性化事業 泰阜村賑わい創出事業 喬木村賑わい拠点整備事業 豊丘村賑わい創出事業 大鹿村賑わい創出事業 |
| (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 | |
| 人財育成等 | 合同専門研修 外部専門家の招聘・活用事業 |

南信州広域連合 事務局

〒395-0034

長野県飯田市追手町2丁目678 県飯田合同庁舎5階

TEL 0265-53-7100 FAX 0265-53-7155

E-mail(代表) kouiki@minami.nagano.jp

URL <http://minami.nagano.jp>



南信州いいむす 21